

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
乳幼児期における 学びの充実	1	ママ・パパ教室	昭和58年度(推定)	赤ちゃんを産み育てていくための準備・沐浴体験を行います。	こども家庭保健課	令和7年3月末までに計画通り計15回実施し、妊婦やその家族に、妊娠・出産・子育てに必要な知識の普及や情報提供を行うことができました。	夫婦そろって参加しやすいよう今後も土曜日・日曜日に開催を計画します。
	2	久喜市ママパパ支援動画	令和2年度	妊婦の方や家族の方が安心して妊娠・出産・育児を迎えられるよう動画を配信します。	こども家庭保健課	乳幼児健診等において、これまでに作成した動画の周知を行いました。	動画を活用していただけるよう引き続き周知を行うと共に、必要に応じて新たな動画を作成します。
	3	ブックスタート事業	令和元年度	4か月児健康診査時において、未就学児とその保護者のために絵本の紹介と読み聞かせをします。	こども家庭保健課 生涯学習課	【こども家庭保健課】 4か月児健診において、ブックスタート事業の場を提供しました。 【生涯学習課】 保健センター(中央・菖蒲・栗橋・鷺宮)の4か月児健診の実施にあわせてブックスタート事業を行うことにより、乳幼児へ向けた読書環境の強化を図ることができました。 令和6年度実績:740冊絵本配布(内訳:中央320冊、菖蒲66冊、栗橋146冊、鷺宮208冊)	【生涯学習課】 こども家庭保健課と生涯学習課が連携して、事業を行う必要があります。
	4	久喜市つどいの広場「きらきら」	平成21年度	乳幼児とその保護者、妊娠中の方で交流したり、子育て仲間をつくったりすることのできる場を提供します。	子育て支援課	講習会4回で33組、イベント5回で64組、交流会11回で45組の参加がありました。	参加者を増やすため、利用者が必要とする事業の展開と周知方法を検討する必要があります。
	5	育児教室	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	乳幼児の保護者を対象に、よりよい育児の方法を考えていく場を提供します。 【児童センター】0・1歳児 【鷺宮児童館】未就学児	こども育成課	【児童センター】 全7回で企画し、7回すべて開催しました。延べ54組の参加がありました。 【鷺宮児童館】 全8回企画し、8回すべて開催しました。延べ48組の参加がありました。	時代に合わせて、講座内容を見直していく必要があります。
	6	幼児教室	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	幼児とその保護者を対象に、様々な活動をとおして、就園に向けて集団活動に慣れる場を提供します。 【児童センター】2・3歳 【鷺宮児童館】1歳から3歳	こども育成課	【児童センター】 全7回で企画し、7回すべて開催しました。延べ82組の参加がありました。 【鷺宮児童館】 全5回で企画し、5回すべて開催しました。延べ64組の参加がありました。	時代に合わせて、講座内容を見直していく必要があります。

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	7	遊びの広場、ふれあい遊び、園庭開放	平成20年度(久支セ) 平成18年度(栗支セ) 平成24年度(鷺支セ)	子どもたちが安全に楽しく遊びながら、健全に成長できる場を提供します。	子育て支援課	【久支セ】 令和6年度は246日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びの参加者は、延べ4,647人でした。園庭開放は14回実施し、延べ62人が利用しました。 【栗支セ】 令和6年度は246日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びの参加者は、延べ6,496人でした。園庭開放は10月と11月の各月1回ずつ実施し、延べ55人が利用しました。 【鷺支セ】 令和6年度は246日開所し、遊びの広場・ふれあい遊び参加者は、延べ10,167人でした。園庭開放は毎日実施し(雨天・熱中症警戒アラート発表時を除く)、延べ4,155人が利用しました。	施設周辺の立地環境に応じて、市内全域や市外の方等に幅広く利用されるためのアプローチや周知方法を検討する必要があります。
	8	市長と子どもたちとのオンラインミーティング	令和4年度	市政への理解を深めてもらうとともに、夢のある幅広い子どもの意見や要望を市政に反映させるため、市長との意見交換を実施します。	シティセールス課	小学校5校、中学校3校の合計8校で実施しました。 (本町小学校、青葉小学校、栢間小学校、栗橋小学校、砂原小学校、栗橋西中学校、鷺宮東中学校、久喜東中学校) 各学校4～5名の児童・生徒が、市長と意見交換を行いました。	こどもたちの意見等をどのように市政へ反映できたか、進捗確認を行う必要があります。
	9	ローズバーク市との国際交流事業	昭和62年度	市内中学生のローズバーク市への派遣及びローズバーク市の中学生等の受入による国際交流活動を実施します。	市民生活課 指導課	令和6年度は、7月22日(月)から8月1日(木)までの11日間、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーク市へ久喜市の高校生1人、中学生13人、引率者4人を派遣しました。久喜市の高校生及び中学生は、ローズバーク市内の施設見学や、キャンプ、海岸遊び等のアクティビティ等をローズバーク市の生徒と一緒にいき、交流を深めることができました。また、体験活動を通し、アメリカの文化や習慣等について理解を深めるとともに、英語環境に親しみ、語学力の向上を図ることができました。	【指導課】 受け入れ家庭を数多く確保していくことが、今後の課題になります。また、派遣の際に、円安や物価高騰の影響で、一人当たりの費用の高騰が予想され、その対応が課題になります。
	10	子ども自然観察会	平成9年度(推定)	生態園と施設を活用し、昆虫・植物などの自然の大切さを学びます。	環境課	令和6年度は10月12日(土)に埼玉県環境科学国際センター(加須市)の生態園で観察会を実施しました。大人12名、子ども13名の合計25名が参加しました。	子どもたちから人気の事業であり、今後も引き続き取り組んでいきます。
	11	青少年健全育成事業	平成23年度(推定)	各青少年健全育成活動団体が主催する事業を通じて、青少年健全育成の推進を図ります。	こども育成課	青少年育成団体(8団体)に対し、活動費補助金を交付し、青少年の健全育成に寄与しました。また、各地区における青少年防犯パトロール及び啓発活動に参加し、犯罪等の抑止に努めました。	各青少年団体において、構成員の高齢化により活動の存続が困難になってきており、新たな構成員を獲得できるような企画や、活動内容を広く周知する方法が必要と考えます。

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
青少年期(小学生～高校生)における 学びの充実	12	児童館の催し・イベントの拡充	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	木工作や季節の折り紙、電気教室等、子どもたちが楽しめるイベントを開催します。	こども育成課	【児童センター】 令和6年度は小学生以上向けに51事業を企画し、51事業すべて開催できました。小学生以上の参加者は延べ704人でした。 【鷺宮児童館】 令和6年度は小学生向けに11事業を企画し、11事業すべて開催できました。小学生以上の参加者は延べ91人でした。	参加者の少ない事業があるため、魅力的な企画や、事業の効果的な周知方法を考えていく必要があります。
	13	健全な遊びの場と年齢に応じた各種事業	平成26年度(推定)	子どもたちが、自主的な活動や遊び、会館で計画する行事への参加等をとおして、心身ともに豊かで健康的な子どもたちを育成します。	人権推進課(しょうぶ会館)	実施なし	令和7年度実施予定
	14	小学生イングリッシュキャンプ	平成25年度	外国語指導教員と交流し、グローバル化に対応した国際人を育成します。	指導課	令和6年度は、加須げんきプラザにて、8月7日(水)～8日(木)の1泊2日の宿泊型で実施しました。47名の児童、12名のALTが参加し、2日間かけて英語を使った様々なアクティビティに参加しました。2日目には、一人一台端末を活用して、学んだ英語を使ったグループごとの発表を行い、参加児童の英語力向上に寄与することができました。	コロナ後は食堂が閉店になってしまったため、食事の確保が難しい状況でした。また、宿泊している加須げんきプラザが令和7年度をもって閉館となるため開催の方法について検討する必要があります。
	15	中学生学力アップ教育推進事業	平成29年度	中学生の学習習慣の確立や学力の定着を図るため、放課後の学習を支援します。	指導課	令和6年度は、市内全体で283名の中学生が参加しました。県の補助金が減額となった関係で、全23回の実施となりましたが、コーディネーター・支援員の協力のもと、生徒の学習習慣の定着や学力向上に寄与することができました。	国や県の補助金を活用し実施をしていますが、毎年減額されています。併せて、コーディネーター・支援員の確保が課題となっています。
	16	くき検定	平成30年度	これからの久喜市を担う小・中学生に、久喜市の歴史や文化、自然環境等に興味をもつきっかけづくりのために実施します。	指導課	令和6年度は、12月1日(日)に、5名の決勝進出者によるくき検定グランプリ決勝戦をモラージュ菖蒲にて開催いたしました。くき検定全体としては、オンライン予選や初級・中級問題の作成も含め、54名の児童・生徒が参加しました。これからの久喜市を担う小・中学生に、久喜市の歴史や文化等に興味をもつ機会を提供することができました。	初めて設けた初級・中級問題の募集には、近年少なくなっていた中学生も多く応募していました。次年度は、期間をより長く設けるため、1学期から募集を行います。初級・中級についても、期間内にいつでも受検できるような形への変更を検討します。

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	17	GoogleジュニアICTリーダー育成講座	令和4年度	Googleスライドを活用したプレゼンテーションの仕方や、Googleサイトを活用した市の魅力発信の方法等について学ぶ機会を提供します。	指導課	7月25日(木)に第4回久喜市ジュニアICTリーダー講座を開催し、小学生28名、中学生16名が参加しました。また、第5回として2月22日(土)にGoogle渋谷オフィスにて行われた親子講座では、20組41名が参加し、親子でのオフィスツアーをしたりプレゼン資料の作成方法を学んだりしました。各種講座への参加を通じて学んだ成果を市内中学生3名が12月13日(土)に東京大学にて開催されたGoogleジュニアICTリーダープレゼンサミットにて発表しました。	今後も一過的なもので終わらせることなく継続することで、ジュニアICTリーダーの数の更なる拡大を図り、市内小・中学生に情報発信の仕方やインターネットリテラシーを学ぶ機会を提供しつづけていく必要があります。
	18	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)	平成16年度	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和6年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに居場所を提供することができています。 ・参加児童数:2,838人 ・開設講座数:371講座 ・実施委員人数:370人 ・児童参加率:42.7%	子どもたちの興味・関心を高めるために新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。
	19	子ども大学くき	平成24年度	高等教育機関、久喜青年会議所と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。	生涯学習課	令和6年度は、定員50人に対して36人の申し込みがあり、次のとおり実施しました。 参加者数36人 (内訳4年生:10人5年生:16人6年生:10人) ・1日目 日程:8月25日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「入学式」「みんなで楽しもう!なんちゃってポッチャ!」 ・2日目 日程:9月15日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「子どもの権利ってなに?」「われらHIU(エイチアイユー)探検隊!」 ・3日目 日程:9月22日(日) 会場:鷺宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「身近にある素材で違う世界を見てみよう!」 ・4日目 日程:10月5日(土) 会場:鷺宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「わが家のマイタイムラインを作ろう!!」「修了式」	子どもの知的好奇心を刺激する、より多くのカリキュラムを実施していく必要があります。 また、他の高等教育機関との連携を検討していく必要があります。
	20	青少年教育の充実	令和5年度	生涯学習施設を活用した青少年教育について検討し、充実します。	生涯学習課	当該年度に二十歳を迎える方で構成される「二十歳の成人式実行委員会」を生涯学習施設で実施しました。	今後、さらに幅広く青少年教育に関する学びの提供を検討していく必要があります。

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	21	子ども歴史広場	平成15年度	子どもたちが行事や昔の遊びに接する機会を提供します。	郷土資料館	令和6年度は、次のとおり実施しました。 第1回: 令和6年7月24日(水)実施「懐かしいおもちゃと飾りづくり」(参加人数: 15人) 第2回: 令和6年8月7日(水)実施「昔の道具体験」(参加人数: 18人) 第3回: 令和6年8月21日(水)実施「勾玉づくり」(参加人数: 36人)	より多くの子どもたちに興味を持って参加してもらえるよう、郷土資料館ボランティアと調整しながら、今後も開催日や開催内容を検討していく必要があります。
成人期における学びの充実	22	発達障がい児等総合支援事業	令和2年度	発達障がいのある子を育てている保護者同士が集うペアレントメンター事業や発達障がいを考える講演会を開催します。	障がい者福祉課	発達障がい児の保護者や支援者等が発達障がいの特性を理解し、必要な知識や適切な対応を考える機会及び保護者間の交流の場を提供しました。発達障がいを考える講演会については、令和6年6月1日(土)に実施し、58名の方に参加いただきました。ペアレントメンター事業については、令和6年10月4日(金)・18日(金)・25日(金)に実施し、延べ20名の方に参加いただきました。	発達障がいを考える講演会、ペアレントメンター事業、共に参加者の集客が課題です。SNSの活用や対象者に対し積極的に周知を行っていきます。
	23	二十歳の成人式事業	平成31年度(推定)	二十歳の門出を祝い励ますとともに、大人としての自覚を支援します。	生涯学習課	令和6年度は令和7年1月12日(日)に、4地区3会場で実施しました。 会場は、久喜地区と鷲宮地区は久喜総合文化会館、菖蒲地区は菖蒲文化会館(アミーゴ)、栗橋地区は栗橋文化会館(イリス)でした。 当日は、965人の方が出席し、門出を祝い励ますとともに、大人としての自覚を促しました。	特に参加者数が多い久喜総合文化会館では、駐車可能台数の都合もあり、時間帯により会場周辺道路が大変込み合うことがあります。特に来場時の混雑が緩和できるように、案内状や立て看板を工夫し、円滑に駐車場へ誘導できるようにします。
	24	市民大学(まなびすとカレッジ)・大学院	平成7年度	市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、地域コミュニティづくりやまちづくりの担い手及び指導者・リーダーとなる人材の育成を図ります。	生涯学習課	令和6年度は4月6日(土)に入学式・始業式を実施しました。令和7年3月31日現在、学生数は1年生10名、2年生11名、大学院生3名でした。1年生31講座、2年生21講座の他、講座以外の特別活動は、予定どおり行いました。また、令和6年度は市民大学開校30周年を迎える年であり、12月7日(土)に記念事業を実施いたしました。記念事業では、講演会とパネルディスカッションを行いました。なお、令和6年度の卒業者・修了者数は次のとおりです。 ・1学年: 10人 ・2学年: 11人 ・大学院生: 3人	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。
	25	子育て講座	平成28年度(推定)	小学校入学を控えた子どもを持つ保護者が抱えている不安や悩みなどを解消するために、保護者同士の交流を支援します。	生涯学習課	令和6年度は、埼玉県家庭教育アドバイザーを講師として、10月に市内全小学校で実施しました。11月には、埼玉県家庭教育アドバイザー同士で子育て講座反省会を開催しアドバイザーとしてのスキル向上に努めました。	中学校でのアドバイザーの活用の推進及び、アドバイザーの人材不足が課題です。

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	26	家庭教育学級	平成27年度(推定)	子育ての悩みや親子の関わり方等について保護者同士で学ぶ機会を支援します。	生涯学習課	令和6年度は16の団体で本事業が実施され、補助金額は254,000円でした。	補助金制度を活用する団体は一部に限られていることから、より多くの団体へ補助金事務をわかりやすく示す必要があります。
	27	埼玉県家庭教育アドバイザー、ネットアドバイザーの活用	令和5年度	久喜市在住の埼玉県家庭教育アドバイザー、ネットアドバイザーに協力いただき、保護者向けに、子育てやインターネットトラブルに関する悩み等の学びの機会を提供します。	生涯学習課	1青空ママパパ交流会(令和6年5月11日(土)実施) 参加者:大人45名子ども63名 計108名 保護者同士が子育てについて語り合えました。 2子育てひろば(令和6年8月3日(土)実施) 参加者:大人13名子ども23名 計36名 様々な子育て情報を共有できました。 3親の学習(令和6年10月市内全小学校で実施) 参加者:大人1,058名子ども192名 計1,250名 保護者同士で子育ての悩みを相談できました。 4いのちの授業(令和6年10～12月に市内中学校で9回実施) 参加者:大人205名子ども226名 計431名 子育て体験を中学生に話す貴重な経験でした。	埼玉県ネットアドバイザーについては、警察や私企業や他団体も行っているため、飽和的にもなっています。より現実味があり、効果的な事例から学ぶようなケーススタディーとして、参加型で学習を行っていく必要があります。
	28	鷺宮催馬楽神楽伝承教室	平成15年度	鷺宮催馬楽神楽の後継者を育成するため、基礎から学べる伝承教室を開催します。	郷土資料館	令和6年度は定員20人とし、応募人数9人で、9月から10月にかけて全10回で実施しました。 鷺宮催馬楽神楽保存会を講師としてお迎えし、第1回から第9回まで郷土資料館視聴覚ホールで神楽の練習を行いました。第10回は令和6年10月27日(日)に鷺宮文化祭でその練習成果を発表しました。	国指定重要無形民俗文化財「鷺宮催馬楽神楽」の後継者を大切に育てていくため、同神楽保存会と調整しながら、受講生が長く取り組んでもらえるような教室にしていく必要があります。
	29	古文書学習会	平成15年度	郷土に関する古文書の解説を通じて、郷土の歴史を再認識する学習会を開催します。	郷土資料館	令和6年度は、定員36人とし、応募人数36人で、5月から12月にかけて全11回で実施しました。 テキストは主に江戸時代の古文書(館蔵資料)を使用しました。	古文書を学ぶ機会をより多くの方に提供するため、講師と調整しながら、古文書の習熟度に応じた学習内容を検討していく必要があります。
	30	高齢者の職業能力開発と活動支援	平成18年度(推定)	シルバー人材センターとの連携により、職業能力開発による高齢者の就業援助と、高齢者の地域活動への参画支援をします。	商工観光課	久喜市シルバー人材センターに加入している高齢者の就業が図られるように取り組みました。	久喜市シルバー人材センターへ発注される業務は、除草や清掃等であり、体力的な理由等により、就業につながらないケースが発生しています。

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
高齢期における学 びの充実	31	はつらつ運動教室	平成18年 度	高齢者の心身機能の維持向上を図るため、運動の機会を提供します。	高齢者福祉課	はつらつ運動教室は、高齢者の心身機能の維持向上や要介護状態への進行の予防を目的に、はつらつリーダーにより運営しています。 令和6年度は、39会場ではつらつ運動教室を実施し、高齢者の健康の保持増進を図ることができました。	引き続き、ホームページや広報に掲載し、周知活動を行います。
	33	アクティブシニア応援サイトの充実	令和元年度(推定)	久喜市ホームページ内に、シニアの方に向けて役立つ情報をお届けします。	高齢者福祉課	いきいきデイサービス、久喜市はつらつ運動教室について市ホームページ・広報に掲載し、サイトを通じて、アクティブシニアの皆様に役立つ情報を提供しました。	引き続き、介護予防に関するサービスなどをホームページに掲載し、情報発信していきます。
	34	高齢者大学(スマイルキャンパス)	昭和54年度	実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを充実させるための講座を充実します。	生涯学習課	令和6年度は4月10日(水)に入学式・始業式を実施しました。令和7年3月31日現在、学生数は1年生50名、2年生41名、3年生36名、4年生25名で、講座や学校行事は予定どおり実施できました。 3月末までの講座出席率は、1年生82.5%、2年生83.5%、3年生75.4%、4年生88.9%と高い傾向にあり、意欲を感じることができました。 また、多くの学生が生涯学習施設「まなびすポット」を使用しています。	年々学生の平均年齢が高くなりつつあるため、学生の負担がなるべく少なくなるように、学校行事やボランティアについて検討する必要があります。 年に6回正副委員長会議を開催しており、学生の意見を踏まえながら、満足度の高い行事、ボランティア活動の実施に取り組んでいます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
人権を尊重した教育の推進	35	人権啓発事業「人間尊重・平和の日」	令和6年度	様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るため、市内4地区で人権啓発事業を開催します。	人権推進課 各行政センター総務・人権係 生涯学習課	令和6年11月16日(土)、久喜総合文化会館にて「人間尊重・平和の日」を開催し、1,150人が来場しました。	このイベントの内容を広く知ってもらうことが観客数の増加につながると考えます。人間尊重・平和を考える場であることをアピールし、試行錯誤しながら今後の企画を検討していきます。
	36	広報啓発活動や講演会	広報:平成21年度(推定) 啓発活動:(栗橋)平成24年度(推定) (鷺宮)平成7年度(推定)	広報紙に「人権それは愛」の掲載や、啓発物品の配布、人権啓発講演会を開催します。	人権推進課 各行政センター総務・人権係 生涯学習課	広報くきにおいて、毎月人権に関する様々な情報を掲載しています。 人権啓発活動を、各地区で実施しました。 久喜地区:令和7年3月6日(木) 久喜駅において駅頭人権啓発活動を実施し、人権標語入り啓発品を627個配布しました。 菖蒲地区:令和6年11月28日(木) モラージュ菖蒲において街頭人権啓発活動を実施し、人権標語入り啓発品を511個配布しました。 栗橋地区:令和6年12月4日(水) 栗橋駅において駅頭人権啓発活動を実施し、人権標語入り啓発品を767個配布しました。 鷺宮地区:令和7年1月29日(水) アリオ鷺宮において街頭人権啓発活動を実施し、人権標語入り啓発品を453個配布しました。	啓発は、継続していくことが大切です。これまでの方法を繰り返し啓発していくとともに、新たな啓発方法も検討しながら、今後も人間尊重・平和を考える機会を提供していきます。
	37	社会を明るくする運動	平成23年度(推定)	犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築こうとする法務省提唱の運動を推進します。	社会福祉課	令和5年度は構成団体7団体でしたが、令和6年度から構成団体が14団体に増加しました。7月24日(水)に講演会及び街頭啓発を実施しました。講演会の参加者は134名でした。街頭啓発は、久喜駅及びイトーヨーカドー久喜店にてパンフレットと啓発品を配布し、周知を図りました。 また、7月の強化月間中は、久喜駅東口及び西口に横断幕を設置、市庁舎へ懸垂幕を掲出しました。	講演会の参加者をより増やすため、周知団体を追加します。 また、街頭啓発については市のイベントに参加し、より多くの方に啓発品を配布します。
	38	人権教育推進事業(しょうぶ会館でのふれあい教室等)	平成23年度	学習活動をとおして、支えあう仲間づくりを進め、好ましい人間関係を育てるとともに、人と人の交流の中で人権意識の高揚を図ります。	生涯学習課	児童に配布されているタブレットを活用して募集を行い、学習会の他、工作や料理など様々な教室を実施しました。 参加人数:820人	学習会への参加者が少ないため、参加者を増やすための検討が必要です。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	39	PTA人権教育研修会	平成23年度	様々な人権問題を解消し、差別のない明るい地域社会を実現するための研修会等を充実します。	生涯学習課	PTA人権教育研修会を4回実施しました。 第1回日時:6月26日(水) 会場:栗橋文化会館 講師:星野ルネ(ほしのるね) テーマ:アフリカ少年が日本で育った結果 参加者数:77人 第2回日時:8月20日(火) 会場:久喜総合文化会館 講師:宗片恵美子(むなかたえみこ) テーマ:今だからできること～女性の人権と防災を考える～ 参加者数:93人 第3回日時:11月18日(月) 会場:菖蒲文化会館 講師:渡辺哲雄(わたなべてつお) テーマ:認知症になった波平～高齢者の人権について考える～ 参加者数:85人 第4回日時:1月28日(火) 会場:鷲宮行政センター会議室 講師:阿部真紀(あべまき) テーマ:子どもの自己肯定感～できた・できてる・きっとできる～ 参加者数:33人	主にPTAを対象とした研修会であることから、様々な人権問題のうち、特にPTAの方にとって関心の高い人権問題・課題を選定し、人権意識の向上や人権問題に対する正しい理解と認識を深められるよう、継続して実施していく必要があります。なお、より多くの方に研修会に参加していただくために、PTAをはじめ、広く市民に向けて、広報きやホームページ、SNSなどを用いて開催の周知を図っていきます。
	40	社会人権教育指導者養成講座	平成23年度	企業・事業者を対象に人権教育指導者の養成につながる講座を実施します。	生涯学習課	社会人権教育指導者養成講座を令和7年2月3日(月)に実施しました。 会場:久喜総合文化会館 講師:渡部卓(わたなべたかし) テーマ:ハラスメントにならないためのコミュニケーション 参加者数:180人	企業・事業者等から参加していただいた多くの方に、差別意識の解消や人権問題に対する正しい理解と認識を深めるとともに、企業・事業者が自らの事業所内で人権教育に取り組んでいけるよう、毎年継続して実施していく必要があります。
	41	教育集会所事業	平成23年度(推定)	地域住民の人権感覚・人権意識の高揚、地域住民相互の交流を図ります。	生涯学習課	各種教室・講座等を実施しました。 参加者数:1,045人	各種教室・講座や事業を実施し、人権意識の高揚と地域住民の交流を図っていく必要があります。地域住民や参加者の意見を確認しながら、参加者の増加につながるよう事業の充実を図っていきます。
	42	久喜市の社会人権教育、人権啓発冊子発行	平成23年度	冊子を発行することにより、人権感覚・人権意識の高揚に努めます。	生涯学習課	令和6年度事業の事業内容を掲載した冊子を小・中学校等へ配布しました。	引き続き、小・中学校等へ冊子を配布し、人権意識の高揚を図るため、毎年継続して実施していく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
障がい者の学びの推進	43	フレンドシップ学級事業	平成13年度	交流会、創作活動、レクリエーション等の事業を実施します。	障がい者福祉課	4月に令和6年度の総会を開催し、今年度を実施したい活動を決定しました。5、6、9、10、11、2、3月の合計7回実施しました。	参加者が高齢化しているため、新規参加希望者を募り、事業の活性化が必要です。
	44	障がい者パソコン講座	平成16年度(推定)	視覚障がい者・上肢機能障がい者を対象とした、パソコンを使つての基本的な技能を習得します。	障がい者福祉課	広報くき9月号にて障がい者パソコン講座の受講者を募集しましたが、受講希望者がいなかったことから実施を見送りました。 令和6年度から視覚障がい者向けのスマートフォン講座を実施し、2名の受講者が参加しました。必須なツールとなっているスマートフォンを生活に取り入れるきっかけになりました。	スマートフォンの普及に伴い、パソコン教室のニーズが低下している可能性があるため、引き続きスマートフォン教室も実施していきます。
	45	生活支援及び障がいに応じた作業支援	平成18年度	在宅の障がい者に、必要な自立訓練、創作・生産活動、社会との交流促進の場を提供します。	障がい者福祉課	日々の活動を通して、自立訓練や社会との交流の経験を積み、利用者の状況に応じて活動参加を促すことで、意欲の向上に繋がりました。	支援を必要とする方が適切にサービスを利用できるよう、引き続き情報提供や周知を行っていきます。
	46	地域福祉推進のためのワークショップ	平成19年度	地域福祉推進のためのワークショップを実施します。	久喜市社会福祉協議会	令和6年度の実施はありません。	実施について検討していきます。
	47	ふれあいスポレク・フェスタ	平成22年度	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時:令和6年12月16日(月) 会場:久喜特別支援学校 概要:若い世代にもスポーツの楽しさを伝えるために、訪問型スポーツ体験会を開催しました。 参加者数:31名	障がいのある方にスポーツを体験してもらう機会を増やすために、引き続き、訪問型体験会の開催を検討していきます。
	48	ひとと人のつどい	平成16年度	男女共同参画の推進を図るため、市民団体と協働で啓発イベントを開催します。	人権推進課	令和5年度のアンケート意見により、令和6年度から事業名を「男(ひと)と女(ひと)のつどい」から「ひとと人のつどい」へ変更し開催しました。 実施日:令和6年7月6日(土) 会場:久喜中央コミュニティセンター 参加者:274名 主催:久喜市・女(ひと)と男(ひと)いきいきネットワーク久喜 内容: ・記念講演:高橋幸子氏「自分を知り、人との違いを認め合う。選択肢を知り、つかみ取る!～知りたい!包括的性教育とHPVワクチン～」 ・ステージ発表、活動展示・作品展示、喫茶・物品販売コーナー、人権相談・女性相談コーナー、ユースクリニック、ワークショップ等 記念講演、男女共同参画に関する作品展示や市内で活躍する女性団体の活動展示等を通して、参加者への意識向上や男女共同参画の推進を図りました。	参加者の年代層が比較的高齢のため、より幅広い年代層への訴求と、参加団体においても新規団体を募集することで、より幅広い市民へアピールを図ります。
	49	いきいき女性議会	平成13年度	行政や議会に対する女性の参画意識を高めるため、女性の意見や要望等を市政に反映させる機会として女性議会を開催します。	人権推進課	令和7年度の開催に向けて関係各所との調整を行いました。	公募の女性議員の募集に向けて関係各所との調整を行います。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
性別や国籍を問わない学びの推進	50	男女共同参画1日体験学習ツアー	平成22年度	男女共同参画に関する理解や認識を深められるよう、市民を対象とした体験学習や施設見学を実施します。	人権推進課	令和6年度は、次のとおり実施しました。 実施日：令和6年6月12日(水) 参加者：29名 見学先：渋沢栄一記念館、埼玉県防災学習センター 移動時に男女共同参画ミニ講座を実施し、見学先にて女性の社会進出に寄与した人物の功績や男女共同の防災について学ぶ機会の提供ができました。	現役世代の参加者が少ないことから、将来的に時間や場所や方法などについても検討を進めていきます。
	51	外国籍市民のための日本語教室	平成14年度	15歳以上の外国籍市民の方を対象に、日本語力の基礎を身に付ける教室(初級)と、仕事に関する場面での日本語を学ぶ教室(中級)を開催します。	市民生活課	令和6年9月14日から11月16日までの各土曜日(全10回)、久喜中央コミュニティセンターにて日本語教室を開催しました。 受講者の日本語レベルによって初級20名と中級13名に分け、日本での生活におけるコミュニケーション能力の向上を図りました。 受講者は、広報くき8月号等にて募集しました。	令和7年度は市主催の日本語教室を廃止し、受講希望者には市内の日本語ボランティア団体をご案内します。また、市内日本語ボランティア団体と連携を図り、団体主催の日本語教室で活動する日本語ボランティアを増やす必要があります。
	52	久喜市で生活する外国人のためのくらしのガイドブック	令和3年度	久喜市で生活するために必要なことがやさしい日本語と英語で書いてあるガイドブックを配布します。	市民生活課	令和4年3月に発行した「久喜市で生活する外国人のためのくらしのガイドブック(やさしい日本語版・英語版)」については、情報の削減、要点の整理等内容の見直しを図っております。	「久喜市で生活する外国人のためのくらしのガイドブック(やさしい日本語版・英語版)」については、ページ数が多く、見づらいつとの意見をいただくため、ページ数の削減及び内容の見直しを図る必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	53	本多静六記念館	平成26年度	本多静六博士の直筆の資料や遺品等の貴重な資料、博士が手がけた全国各地の公園や観光地のポスターを常設展示します。	菖蒲行政センター 総務管理課 文化振興課	【文化振興課】 令和6年度は、次のとおり実施しました。これにより、教職員初任者、小学生と民間団体の参加者に、本多静六博士の業績を学んでいただくことができました。 ・団体見学 実施日程:5月16日(木) 内容:三箇小学校の見学(27人) ・団体見学 実施日程:7月3日(水) 内容:日中文化交流会(35名) ・団体見学 実施日程:7月31日(水) 内容:教職員初任者研修(25名) ・団体見学 実施日程:10月18日(金) 内容:栗橋西小学校の見学(46人) ・団体見学 実施日程:11月15日(金) 内容:臥竜公園管理事務所(15名) ・団体見学 実施日程:2月13日(木) 内容:栗橋・鷺宮ボランティア団体(44名)	本多静六博士に関する資料の管理や展示、団体見学の受入れ等を今後も継続して実施する必要があります。
	54	市民大学公開講座	平成7年度(推定)	久喜市の歴史や自然環境に特化した公開講座を実施します。	生涯学習課	令和6年度の市民大学公開講座を、次のとおり実施しました。 ・4月20日(土)「鷺宮神社と催馬楽神楽」市民参加者:7名 ・5月18日(土)「歴史探訪『地域史に親しむ』」市民参加者:13名 ・6月15日(土)「久喜の自然と風土」市民参加者:16名 ・7月6日(土)「久喜の教育の源流を知る1『遷善館と幸魂教舎』」市民参加者:8名 ・7月20日(土)「久喜の教育の源流を知る2『明倫館・久喜高女』」市民参加者:8名 ・7月27日(土)「本多静六博士と渋沢栄一」市民参加者:27名 ・8月24日(土)「地元栗橋から見た利根川東遷」市民参加者:18名 ・9月7日(土)「宇宙開発最前線」市民参加者:5名 ・10月5日(土)「菖蒲のお殿様とその村々」市民参加者:22名 ・10月26日(土)「久喜市に伝わる伝統行事」市民参加者:9名 ・11月2日(土)「久喜の環境を河川から見てみよう」市民参加者:10名 ・11月16日(土)「将来の介護に備えよう」市民参加者:3名	今後も、公開講座をきっかけとする市民大学の学生数の増加につなげていくため、ホームページ、広報くき等での周知を図る必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
「地域を知る」学びの推進	55	コミュニティセンターまつり	平成22年度(推定)	コミュニティセンターごとに、公民館事業運営委員と地域住民との協働により、各コミュニティセンター利用団体の展示や演技発表等を実施します。	生涯学習課	令和6年度は8地区で開催しました。 ・清久地区:9月28日(土)、29日(日)(清久コミュニティセンター)約720人参加 ・江面地区:11月30日(土)、12月1日(日)(南コミュニティセンター、江面小学校)約200人参加 ・久喜中央地区:12月6日(金)～12月8日(日)(久喜中央コミュニティセンター)約331人参加 ・青葉地区:令和7年2月1日(土)、2日(日)(青葉コミュニティセンター)約250人参加 ・鷺宮地区:令和7年2月8日(土)、9日(日)(鷺宮中央コミュニティセンター)約300人参加 ・菖蒲地区:令和7年2月15日(土)、16日(日)(森下コミュニティセンター)約330人参加 ・栗橋地区:令和7年2月15日(土)、16日(日)(栗橋中央コミュニティセンター)約320人参加 ・久喜東地区:令和7年3月15日(土)、16日(日)久喜東コミュニティセンター)約720人参加	地区毎の集客方法や事業実施が望まれるため、各地区運営委員会で協議していきます。
	56	図書館自主事業の充実	令和元年度	市民の学習活動・課題解決を支援するために、利用者のニーズを反映した図書館自主事業を提供します。	生涯学習課	市立図書館(中央・菖蒲・栗橋・鷺宮)で、子ども、大人、親子と各世代別に事業を実施し図書館の利用促進を図りました。 「第4回久喜市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、調べ学習での活用を促進する事業を行いました。市内小・中学生から1,190作品が集まり、その中から推薦した作品が、「第28回図書館を使った調べる学習コンクール」で文部科学大臣賞を受賞しました。	市民の要望に沿った事業を実施し、事業参加者数の増加に努める必要があります。
	57	生涯学習出前講座の充実	平成10年度	多彩な生涯学習機会を提供し、内容を充実します。	生涯学習課	令和7年3月31日現在、24種類の講座メニューについて、合計78件の申請がありました。78件のうち防災に関する講座が32件を占めており、市民の防災に対する関心が高いと考えられます。	出前講座の周知を図り、更なる活用を推進する必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	58	久喜歴史だより	平成25年度	広報くきに毎月テーマを変えて「久喜歴史だより」を掲載します。	文化振興課 郷土資料館	令和6年度は以下の記事を掲載しました。また、3月号までの記事をホームページに掲載し、検索されやすくしました。これにより、市民等に本市の歴史を学んでいただくことができました。 ・4月号「第149回鷺宮催馬楽が魅せる「狐」の舞」 ・5月号「第150回清久村高木家が出版した文芸誌『田園』と石川啄木」 ・6月号「第151回女流歌人濱梨花枝と歴史探偵半藤一利」 ・7月号紙面の都合により休載 ・8月号「第152回本多静六と北里柴三郎」 ・9月号「第153回久喜市の和算の文化を伝える大崎神社の算額」 ・10月号「第154回川端康成の栗橋訪問」 ・11月号「第155回栗橋銀行と栗橋商業銀行」 ・12月号「第156回久喜市の十九夜塔と女性たち」 ・1月号「第157回戦前の教育界の最前線教育記者相澤熙」 ・2月号「第158回宮内翁助と明倫館」 ・3月号「第159回鷺宮駅の開業」	市民が興味や関心のある郷土の歴史や文化財に関する情報を、今後も継続して発信していく必要があります。
	59	特別展・企画展の実施	平成12年度	郷土資料館においてテーマを設けた展示を実施し、郷土の歴史と文化を再発見する機会を提供します。	郷土資料館	令和6年度は、常設展示や収蔵品展のほか、令和6年10月12日(土)から特別展を実施しました。 ・展示室2 収蔵品展「ちょっとむかしの道具たち」(令和6年4月2日(火)～9月1日(日)) 127日間実施 来館者数: 2,944人 ・展示ホール スポット展「一風変わった道具展」(令和6年8月1日(木)～9月16日(月)) 40日間実施 ・展示室2 ・特別展「栗橋の賑わい」～松尾芭蕉も川端康成もやってきた～ (令和6年10月12日(土)～令和7年2月2日(日)) 87日間実施 来館者数: 3,482人 ・展示室2 収蔵品展「ちょっとむかしの道具たち―農家の仕事―」(令和7年3月1日(火)～3月30日(日)) 24日間実施 来館者数: 632人	更なる郷土学習の向上のため、展示室や展示ホールを活用しながら、より多くの館蔵資料等を今後も積極的に公開していく必要があります。
	60	鷺宮催馬楽神楽伝承教室※再掲(連番No.28)	平成15年度	鷺宮催馬楽神楽の後継者を育成するため、基礎から学べる伝承教室を開催します。	郷土資料館	令和6年度は定員20人とし、応募人数9人で、9月から10月にかけて全10回で実施しました。 鷺宮催馬楽神楽保存会を講師としてお迎えし、第1回から第9回まで郷土資料館視聴覚ホールで神楽の練習を行いました。第10回は令和6年10月27日(日)に鷺宮文化祭でその練習成果を発表しました。	国指定重要無形民俗文化財「鷺宮催馬楽神楽」の後継者を大切に育てていくため、同神楽保存会と調整しながら、受講生が長く取り組んでもらえるような教室にしていける必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
「命を守る」学びの推進	61	交通安全の街頭啓発活動	平成26年度(推定)	交通安全意識の高揚のために普及啓発活動を実施します。	交通住宅課	令和6年春の全国交通安全運動に伴う街頭啓発活動として、次のとおり街頭啓発活動を実施しました。 ・久喜地区:4月12日(金)イトーヨーカドー久喜店 ・菖蒲地区:4月9日(火)モラージュ菖蒲 ・栗橋地区:4月9日(火)マミーマート栗橋店 ・鷺宮地区:4月11日(木)アリオ鷺宮 令和6年夏の交通事故防止運動に伴う街頭啓発活動として、次のとおり街頭啓発活動を実施しました。 ・久喜地区:7月16日(火)イトーヨーカドー久喜店 ・菖蒲地区:7月23日(火)モラージュ菖蒲 ・栗橋地区:7月18日(木)栗橋駅周辺 ・鷺宮地区:7月24日(水)アリオ鷺宮 令和6年秋の全国交通安全運動に伴う街頭啓発活動として、次のとおり街頭啓発活動を実施しました。 ・久喜地区:9月27日(金)イトーヨーカドー久喜店(雨天中止) ・菖蒲地区:9月25日(水)モラージュ菖蒲 ・栗橋地区:9月25日(水)ベイシア栗橋店 ・鷺宮地区:9月25日(水)アリオ鷺宮 令和6年冬の交通事故防止運動に伴う街頭啓発活動として、次のとおり街頭啓発活動を実施しました。 ・久喜地区:12月11日(水)ヤオコー久喜吉羽店 ・菖蒲地区:11月30日(土)モラージュ菖蒲 ・栗橋地区:12月12日(木)イオン南栗橋店周辺 ・鷺宮地区:12月6日(金)アリオ鷺宮	関連団体における活動内容の見直しに伴う脱退や、啓発品の配布による啓発効果が限定的であることが課題でした。 このような課題を踏まえ、令和7年度から、街頭啓発活動の実施内容を見直すとともに、全国交通安全運動及び交通事故防止運動期間において、市メール配信サービスによる周知を実施することとしました。
	62	総合防災訓練	平成20年度(推定)	災害時、防災活動に対する意識の高揚、啓発を行います。	危機管理課	令和6年9月7日(土)に、4地区5会場で実施しました。会場は毎日興業アリーナ久喜、久喜地区は本町小学校、菖蒲地区は小林小学校、栗橋地区は栗橋南小学校、鷺宮地区は東鷺宮小学校で実施しました。参加者数は全会場あわせて地域住民444人、関係機関209人でした。	訓練に参加された市民が多くの訓練に参加できるよう、企画の検討を行います。
	63	普通救命講習	平成25年度	心肺蘇生法やAEDの使用方法に関する講習を実施します。	埼玉東部消防組合	埼玉東部消防組合普通救命講習を実施しました。(久喜市内で実施した回数、参加人員) ・普通救命講習Ⅰ(主に成人が対象)68回613人 ・普通救命講習(WEBⅠ)7回102人 ・普通救命講習(WEBⅢ)4回37人 ・普通救命講習Ⅲ(主に小児・乳児・新生児が対象)12回119人	受講者の増加に伴い、講習会の定数を増やす必要があります。また、3年に1回再講習をするよう促します。
	64	ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動	平成12年度(推定)	環境意識の高揚と地域の環境美化意識の促進に努めます。	環境課	令和6年度は5月18日(土)から6月2日(日)までをゴミゼロ週間と位置づけ実施しました。市全体で20,860名が参加しました。	収集されたゴミの回収方法等を再検討する必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
「環境問題」に関する学びの推進	65	廃食油リサイクル学習会	平成14年度(推定)	リサイクル促進事業の一つとして、親子で参加できるせっけん作りの学習会を実施します。	環境課	令和6年度は7月28日(日)に、しみん農園久喜(緑風館)で実施しました。大人9名、子ども10名の合計19名が参加しました。	年数の経過により製造機器の調子が悪く、買い替え予算もないため、機械が故障し次第、事業終了となる可能性があります。
	66	ノーカーデー	平成12年度(推定)	環境への影響を配慮し、自家用車の使用をできるだけ自粛するノーカーデーを推進します。	環境課	令和6年度についても、引き続き、市の取り組みとしてノーカーデーを推進しました。久喜市環境推進協議会の活動においても令和6年度重点取組事項として掲げ、それぞれの役割の中で実施しています。	ノーカーデーの取組み啓発だけでなく、車に代わる移動手段の啓発も併せて取り組んでいきます。
	67	環境学習会	平成9年度(推定)	地球環境問題に関する学習会を開催します。	環境課	地球温暖化対策について、企業(パナソニック㈱)エレクトリックワークス社)の知見を活用した環境学習「夏休み親子で学ぶ! エネルギーの創・蓄・省と工作教室」を8月20日(火)に実施しました。大人9名子ども11名の合計20名が参加しました。	子どもたちから人気の事業であり、今後も引き続き取り組んでいきます。
デジタル社会に対応した学びの推進	68	共同オンライン分教室(KDX教室)	令和4年度	学校に登校することが難しい中学生を対象に、オンライン上の仮想教室で同時双方向型の学習支援を行います。	指導課	令和6年度は、昨年度から継続の3名と今年度から利用を開始した3名の、計6名の生徒に対し、オンライン上の仮想教室で学習支援を行いました。市内各中学校の教科指導教職員と不登校生徒をオンラインでつなぎ、同時双方向型の学習の機会を生徒に提供することができました。また次年度に向けてより効果が高まるような運営体制となるよう、中核校と協議し実施計画案を作成することができました。	不登校の数が高止まりしている状況で、学びの場の選択肢の一つとして適切に活用してもらえるように、引き続き事業を継続していく必要があります。
	69	パソコン講習会	平成27年度(推定)	パソコンを使って基本的な技能の習得を目指す講習会を開催します。	生涯学習課	令和6年度は各地区での実施はせず、代わりにスマホ講座を実施しました。	地域の方々が求めるデジタル技術を学ぶ場を提供します。
	70	スマホ講座	令和4年度	スマートフォンを使ってみたい、または使うことに不安がある方を対象に講座を開催します。	生涯学習課	令和6年度は初心者向けの講座を6地区8講座(1講座は最小開催人数割れのため中止)を実施し、延べ143人が参加しました。(久喜中央地区11人、江面地区中止、久喜東地区10人、清久地区(複数日)延べ12人、栗橋地区(複数講座)14人、鷲宮地区(複数日)延べ96人)	募集の際に講座で扱う具体的な内容を記載しないと人数が集まりにくい、掲載方法と実施時期を他地区と調整する必要があります。
	71	インターネットによる学習機会の提供	令和5年度	インターネットを利用した学習や広域的な学習機会の選択等、双方向性の学習機会を提供します。	生涯学習課	令和5年度は、11月12日(日)実施の吹奏楽フェスティバルでライブ配信を試みましたが、一部機材トラブルが発生したため、取りやめたことを考慮し、令和6年度では、ライブ配信を行わないこととしました。	実施にあたっての環境整備など課題も多いことから、市民のニーズに応じて実施の可能性を検討してまいります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	72	学習情報の提供	昭和63年度(推定)	インターネットやホームページ、広報くき等、多様な媒体による学習資源の情報化の推進と、学習情報の広域ネットワーク化を推進し、幅広い学習情報を提供します。	生涯学習課	「久喜市市民大学公開講座」や「久喜市高齢者大学オープン高大」といった市民の方が自由に聴講できる講座の実施について、ホームページや広報くきを用いて周知を行っています。 また、「生涯学習人材バンク活用事業」や「生涯学習出前講座活用事業」については、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を用いて、講座の実施について情報の提供を行っています。	さまざまな生涯学習関係事業の実施について、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を積極的に活用し、あらゆる世代の方達に情報を提供していく必要があります。
	73	農業体験、料理教室等の開催	平成11年度	農業や農村への理解を促します。	農業振興課	令和6年度はしみん農園久喜の区画を利用して、久喜地区の市立保育園、市立幼稚園、小学校、児童センター、子育て支援センター等の児童を対象とした、さつまいも掘り体験を実施しました。 また、市内在住・在学・在勤の方を対象に全11回の菜園教室を実施しました。 第1回:5月9日(木)実施「トマト、インゲン、ナス、カボチャの定植等」 第2回:5月23日(木)実施「サツマイモ、落花生の植え付け等」 第3回:6月13日(木)実施「トマト、ナスの誘引作業の実践等」 第4回:7月18日(木)実施「圃場の草取り等」 第5回:8月8日(木)実施「キャベツ、ブロッコリーの播種等」 第6回:8月22日(木)実施「圃場の片づけ、白菜の播種等」 第7回:9月19日(木)実施「キャベツ・ブロッコリー・白菜の定植等」 第8回:10月3日(木)実施「ほうれん草・大根の播種等」 第9回:10月31日(木)実施「さつまいも・落花生の抜根等」 第10回:12月5日(木)実施「キャベツ・白菜・ブロッコリーの抜根」 第11回:1月30日(木)実施「圃場の片づけ」	本事業は、菜園教室や学童農園を通じて、参加者が土や農作物に触れ、農業や農村への理解促進を図ってまいりました。 具体的には、菜園教室においては、基礎的な栽培技術の習得により、家庭菜園での栽培やしみん農園の利用促進につなげ、学童農園においては、さつまいもの収穫体験を通じた、食育の推進に結び付けてまいりました。 この度の見直しにより事業自体は廃止となりますが、しみん農園の管理・運営は引き続き行い、栽培に関する基本的な知識や疑問点などに対しては、市を通じて、JAや県の技術普及員等に確認するなど、継続的なフォローを行ってまいります。 また、学校給食での地元産農作物の利用により食育の推進を図るなど、本事業以外のアプローチにより、農業や農村のさらなる理解促進に向けて取り組んでまいります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
「健康」に関する学びの推進	75	健康づくり、食育推進に関する啓発事業	平成22年度(推定)	広報くきやホームページ等における健康づくり、食育推進に関する知識や情報を提供します。	地域保健課	令和6年9月～10月には、包括連携協定を活用し、市内セブンイレブン店舗へ野菜摂取POPを掲示してもらい、市民へ「野菜のおかずをもう1品」を周知啓発しました。 また、8月31日(土)の「野菜の日」に合わせ、市ホームページに野菜摂取の目標量等を紹介するとともに、野菜を多く使ったレシピを掲載し、市民の野菜摂取促進を図りました。 同じく9月には減塩に関する情報を市ホームページに掲載し、減塩レシピを掲載し、市民へ減塩の知識や情報を周知し、減塩に努めてもらうよう工夫しました。 11月には「共食をするとこんないいこと」をテーマとした食育動画を公開、令和7年1月には「バランスのよい食事」をテーマとした食育動画を公開しました。 運動に関しては、集団がん検診で運動に関するチラシを作成・配布し、健康づくりのための情報提供をしました。	健康づくりや食育推進に関する情報が広く市民へ周知され、市民の意識向上と実践に繋がる効果的な手法を検討する必要があります。 また、様々なイベント等でチラシを配布する等周知に努めます。
	76	こころの健康講座	平成20年度(推定)	こころの健康に関する知識の普及・啓発に努めます。	地域保健課	年2回、こころの健康講座を実施しました。 1回目:7月20日(土)「うつについて知ろう」聴講者32人 2回目:11月16日(土)「ストレス軽減!こころ整えるはじめてのマインドフルネス」聴講者32人	市民のこころの健康維持・増進や普及・啓発につながるよう、取り扱うテーマや参加者の増加に向けた周知方法について検討する必要があります。
	77	食生活改善事業	平成22年度(推定)	食生活の改善に関する知識の普及、情報提供に努めます。	地域保健課	次のとおり実施しました。 4月26日(金)、5月31日(金)、6月25日(火)、7月17日(水)、9月19日(木)、9月25日(水)、10月22日(火)、11月19日(火)、11月21日(木)に骨の健康チェック、カルシウムに関する講話に計935人参加 7月10日(水)、10月24日(木) 栄養バランス食講座30名参加 8月29日(木)、11月27日(水) 骨粗しょう症予防講座32名参加 6月20日(木)、11月13日(水) 生活習慣病予防講座30名参加 12月19日(木) 女性の健康講座11名参加 8月8日(木) おやこ料理教室12組参加	幅広い年代の方に参加していただけるよう、事業の内容を工夫し、食生活の改善につながる知識の普及・啓発に務める必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	78	健康づくり事業	平成22年度(推定)	健康に関する必要な知識の普及、情報提供に努めます。	地域保健課	次のとおり実施しました。 ・6月20日(木)、11月13日(水)、生活習慣病予防講座 講師:食生活改善推進員協議会久喜支部、管理栄養士29名参加。 ・11月13日(水)、11月15日(金) 今日から始めるウォーキング教室 33名参加 ・2月18日(火) 女性の健康(鍛えよう、骨盤底筋) 26名参加 ・3月15日(土) 大学教授を講師とし、女性ホルモンと上手に付き合う2をテーマとした健康講座 25名参加。 ・令和6年4月開始コバトンALKOOマイレージ事業(歩数計管理アプリに登録し歩数に応じてマイレージポイントの獲得ができる) 登録者数1,252人(令和7年3月末時点)	幅広い年代の方に参加していただけるよう、事業の内容を工夫し、健康意識の改善や主体的な健康づくりへの取組みにつながる知識の普及・啓発に務める必要があります。
「スポーツ・レクリエーション活動」の推進	79	よろこびのまち久喜マラソン大会	平成27年度	市のスポーツ振興と市の認知度の向上のため、だれもが気軽に参加できる大会を開催します。	スポーツ振興課	期日:令和7年3月23日(日) 会場:総合運動公園スタート・ゴール 種目:ハーフ、ハーフペアリレー、3km、1.5km 参加者数:3,050人	大会全体の雰囲気を知ってもらい、さらに申込者を増やすための工夫を検討します。
	80	くき健康ウォーク	平成27年度	市民の健康と体力の増進を図るとともに、コミュニティ意識を高め、心身ともに健康で心豊かなまちづくりを目指すために開催します。	スポーツ振興課	期日:令和6年10月20日(日) コース:久喜地区 内容:地図をもとに、ウォーキングをしながらチェックポイントの写真を撮り、制限時間内にゴールを目指すフォトロゲイニングを開催しました。 参加者数:73名	より多くの方に参加いただけるように、市内外に情報発信をしていく必要があります。
	81	スポーツ体験イベント	令和4年度	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るため、スポーツ体験イベントを実施します。	スポーツ振興課	日時:令和6年12月22日(日) 会場:毎日興業アリーナ久喜 概要:スポーツブースや健康ブースを設置し、来場者に運動の楽しさを知るきっかけを提供。 参加者数:延べ2,917名	市民が様々なスポーツに触れるきっかけを提供するとともに、健幸を実感できるイベントとして開催しました。今後も時勢に合わせた内容となるよう企画・実施していきます。
	82	スポーツ情報の発信	令和4年度	スポーツ体験イベントやスポーツ団体、個人の活動等、スポーツ情報を発信します。	スポーツ振興課	期日:通年 内容:市ホームページやSNS、広報紙等にスポーツ関係団体の活動やイベント情報を掲載しました。	今後も企業やプロスポーツチーム、スポーツ団体等と連携しながら市民に向けて、様々なイベント情報や団体活動を発信していく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実					
具体的施策	連番	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	83	ふれあいスポレク・フェスタ※再掲(連番No.47)	平成22年度	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時: 令和6年12月16日(月) 会場: 久喜特別支援学校 概要: 若い世代にもスポーツの楽しさを伝えるために、訪問型スポーツ体験会を開催しました。 参加者数: 31名	障がいのある方にスポーツを体験してもらう機会を増やすために、引き続き、訪問型体験会の開催を検討していきます。
	84	各地区市民体育祭	平成26年度	市民スポーツ・レクリエーション活動を推進し、市民の交流の場として各地区で開催します。	生涯学習課	令和6年度は5地区で開催しましたが、衆議院選挙及びグラウンドコンディション不良のため3地区は中止しました。 ・江面地区: 9月29日(日)(江面小学校)約550人 ・久喜東地区: 10月6日(日)(太田小学校)約650人 ・栗橋地区: 10月6日(日)(南栗橋スポーツ広場)約250人 ・清久地区: 10月12日(土)(清久小学校)約580人 ・鷲宮地区: 10月13日(日)(鷲宮運動広場)約1,400人 ・青葉地区: 10月27日(日)選挙のため未実施 ・菖蒲地区: 10月27日(日)選挙のため未実施 ・久喜中央地区: 11月3日(日)グラウンドコンディション不良のため中止 各地区体育祭においては、関係者の方と競技の見直しや実施方法を含めた協議を行いながら、参加者及び運営側の安全を確保し、体育祭を実施することができました。	アンケート結果に基づき、各地区毎の実情に合わせた体育祭事業を提供します。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 1 人材の育成・活用					
具体的施策	理 系	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
人材の育成	85	市民後見人養成講座	平成27年 度	地域に暮らす同じ市民の立場で寄り添う「市民後見人」を養成します。	障がい者福祉課 高齢者福祉課	市民後見人養成講座基礎編を全8回(9月26日(木)、10月3日(木)、10月10日(木)、10月17日(木)、10月24日(木)、11月7日(木)、11月14日(木)、11月28日(木))で開催し、受講者9名、全員修了しました。	今後も市民後見人養成講座の開催を通じて、市民の権利擁護支援への参加や認知度を高めるため、広報広聴に取り組み、周知を図りたいと思います。
	86	認知症サポーター養成講座	平成23年 度	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族をあたたく見守る応援者を養成する講座を実施します。	高齢者福祉課	・令和6年度に出前講座の希望があったのが2件で、16名でした。 ・生涯学習課の出前講座以外に、市で実施しているほか、社会福祉協議会に委託している分も含めると、令和7年3月31日現在では、642名のサポーターを養成しております。内訳としては市民対象が90名、小中学校、企業、看護学校等は552名でした。	実際に身近な人が認知症になったときに後悔しないよう、元気な高齢者の集まりの団体に声をかけていきたいと思います。また、小・中・高校生やその父兄の方々にもお時間を作っていただき、認知症を理解し、その対応の仕方を学んでいただけるよう学校にも声をかけていきたいと思います。すでにサポーター養成講座を受けている高齢者の集まりもありますが、高齢者以外でも介護をしている方々や今後介護をする予定のある方たちが積極的に受けていただけるよう広報等でPRしていきたいと思います。
	87	はつらつ運動教室リーダー養成講座	平成18年 度	介護予防運動教室の指導者を養成します。	高齢者福祉課	9月下旬から、はつらつリーダー養成講座を実施しました。 実施日程は、以下の通りです。 清久コミュニティセンター、各金曜日、13時半～15時半 初級研修日程:第1回9月13日(金)、第2回9月27日(金)、第3回10月11日(金)、第4回10月25日(金)、第5回11月1日(金)、第6回11月15日(金)、第7回11月29日(金) 中級研修日程:第1回12月13日(金)、第2回1月10日(金)、第3回2月14日(金) 中級実地研修:花みずき会館1月22日(水)、2月12日(水) 栗橋コミュニティセンター(くぶる)1月24日(金)、2月7日(金) 彩嘉園1月27日(月)、2月10日(月) 鷺宮福祉センター1月23日(木)、2月13日(木)	はつらつリーダーの高齢化により、はつらつリーダーが減少しています。若い世代にもはつらつリーダー養成講座を修了していただけるよう引き続き周知活動を行います。
	88	各種ボランティア養成講座や講習会	昭和56年 度(推定)	地域ボランティアの養成、ボランティア団体の活動助成、地域福祉の振興に努めます。	久喜市社会福祉協議会	共生支援事業「子どもの居場所づくりから共生社会を考える」を5月11日(土)に実施し45名の参加がありました。また、ガイドヘルプボランティア講座を6月7日(金)、14日(金)に実施し、7名受講、8月29日(木)、9月2日(月)に実施し、6名受講、点訳ボランティア養成講座を6月12日(水)～9月10日(月)に全12回で実施し、4名修了、音訳ボランティア養成講座を9月18日(火)～令和7年2月5日(水)に全11回で実施し、8名修了しました。	受講者が参加しやすい内容や会場を検討していきます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 1 人材の育成・活用					
具体的施策	理 由	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	89	スポーツ・レクリエーション指導者の養成	平成22年度	スポーツ・レクリエーション活動への参加機会を充実させるために指導者を養成します。	スポーツ振興課	国や県等が開催する講習会等へスポーツ推進委員を派遣しました。 関東スポーツ推進委員研究大会実施(令和6年6月7日(木)、8日(金) 千葉県) 全国スポーツ推進委員研究協議会実施(令和6年11月14日(木)、15日(金) 宮崎県) 埼葛地区社会体育研究大会(令和7年3月2日(日) 松伏町)	スポーツ推進委員のスポーツに関する知識等の向上を図るため、引き続き研修会等に派遣していく必要があります。
	90	市民大学(まなびすとカレッジ)・大学院※再掲(連番No.24)	平成7年度	市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、地域コミュニティづくりやまちづくりの担い手及び指導者・リーダーとなる人材の育成を図ります。	生涯学習課	令和6年度は4月6日(土)に入学式・始業式を実施しました。令和7年3月31日現在、学生数は1年生10名、2年生11名、大学院生3名でした。 1年生31講座、2年生21講座の他、講座以外の特別活動は、予定どおり行いました。 また、令和6年度は市民大学開校30周年を迎える年であり、12月7日(土)に記念事業を実施いたしました。記念事業では、講演会とパネルディスカッションを行いました。 なお、令和6年度の卒業者・修了者数は次のとおりです。 ・1学年:10人 ・2学年:11人 ・大学院生:3人	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。
	91	人材の発掘と登録	平成21年度(推定)	多様な学習活動を支援できる貴重な体験や優れた技能、豊かな知識の持ち主を発掘します。	生涯学習課	令和6年度は、当事業の周知のため、登録されている方の中から講師を選定し、年6回公開講座を実施しました。 公開講座において、講師の登録や活用を呼び掛け、令和7年3月31日現在6名の講師登録がありました。	より多くの方に公開講座に参加していただけるよう公開講座の内容及び費用について、講師と検討していきます。
	92	生涯学習ボランティアの育成と活用	昭和54年度(推定)	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかす生涯学習支援ボランティアを育成し活用します。	生涯学習課	久喜市高齢者大学では、コミュニティセンターまつり、市民芸術祭といった事業にボランティアとして参加しました。 久喜市市民大学では、コスモスフェスタなどの事業に運営ボランティアとして参加しました。 生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかしていけるよう、ボランティアを育成します。	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかせるよう、ボランティア活動の情報を提供し、活動の場へつなげていく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 1 人材の育成・活用					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
人材の活用促進		93 男女共同参画人材リストの活用	平成17年度(推定)	男女共同参画人材リストを市民に周知し、登録を呼びかけるとともに、市の事業等における積極的な活用を図ります。	人権推進課	・男女共同参画人材リストの活用に全庁的に取り組んでいます。 ①市審議会等への女性委員登用促進資料 ②市主催講演会、講座等の講師資料 ③団体、個人への技能などの提供資料 ・公共施設に人材リストを設置して市民への周知と活用促進を図り、令和5年度活用実績は54件でした。 ・市ホームページやSNSで、人材リストの活用促進・登録を呼びかけ、令和6年度末現在の登録者数は29人でした。 ・生涯学習課が所管する「生涯学習人材バンク」との相互利用を図り、市ホームページに相互にリンクを掲載しています。	現状、活用されている登録者に偏りがあるため、他の登録者も活用されるように周知して行く必要があります。今後も人材リストについて、職員向けにポータルサイトや市民向けにSNSを活用することで、広く周知し、活用実績と登録者数を増やしていきます。
		94 部活動における地域人材等の活用	令和5年度	部活動の地域移行に向けて、地域人材をいかした中学校の部活動を支援していきます。また、地域移行の受け皿となるスポーツクラブ等の支援を行います。	スポーツ振興課指導課	【スポーツ振興課】 プロスポーツチーム埼玉ワイルドベアーズ及びスポーツ少年団ミニバス部会において、U15クラブチームを立ち上げ、活動を開始しました。 【指導課】 外部人材を部活動指導員として運動部に7名、文化部に3名を任用し、中学校部活動の地域連携を図っています。また、地域クラブの指導者として26名を委嘱するとともに、2団体へ委託を行い、休日の部活動の地域展開を推進しました。	【指導課】 指導者の確保を持続可能なものにしていくことが大きな課題となります。併せて地域クラブの在り方(施設面・費用面・管理面)について、学校・保護者等と共通理解を図りながら進めていくことも課題となります。
		95 生涯学習人材バンク	平成21年度(推定)	生涯学習人材バンクを整備・充実し、多彩な生涯学習機会を提供します。	生涯学習課	令和7年3月31日現在、延べ190人が講師として登録しており、生涯学習人材バンクの講師依頼について、4件相談がありました。	市民向けの公開講座をととして、人材バンクの周知を図り、更なる活用を促進する必要があります。
		96 生涯学習人材バンク活用事業	令和5年度	生涯学習人材バンクに登録されている方を講師として依頼し、市民向けの講座を生生涯学習施設「まなびすポット」で開催します。	生涯学習課	令和6年度は、年6回の公開講座を実施しました。 ・第1回：4月28日(日)「あなたの知らないディープ・菖蒲～地歴と交通の世界から～」参加者20人 ・第2回：7月27日(土)「花の美と心く生け花体験～」参加者6人 ・第3回：8月31日(土)「江戸の怪談話を楽しもう～『諸国百物語』の世界～」⇒台風接近のため9月14日(土)に延期参加者10人 - 第4回：11月6日(土)「正しい靴の履き方講座」参加者17人 ・第5回：令和7年2月25日(火)「旅のスペシャリスト直伝！『この春に巡る花と温泉の旅プラン』」参加者13人 ・第6回：令和7年3月23日(日)「毛糸のポンポンマスコット作り」参加者10人	より多くの方に公開講座に参加していただけるよう公開講座の内容や費用について、講師と検討していきます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 2 発表機会の充実や学習意欲の向上					
具体的施策	理 采	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
学習成果の発表と 共有	97	市民まつり	昭和63年 度	市民まつりでの学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	商工観光課	市民まつりの会の解散に伴い、市民まつりは開催されていません。	特になし
	98	菖蒲産業祭	昭和60年 度	「菖蒲産業祭」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	商工観光課	令和6年11月3日(日)に開催されました。 会場は、菖蒲行政センター前駐車場でした。 当日は、約20,000人が来場されました。	来場者駐車場の確保に課題があります。
	99	わしのみやコスモスフェスタ	平成14年 度(推定)	「コスモスフェスタ」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	商工観光課	令和6年10月27日(日)に開催されました。 会場は鷲宮行政センター前駐車場、コスモス畑周辺でした。 当日は、約4,500人が来場されました。	実行委員会の担い手不足が懸念されます。
	101	赤花そば栗橋やさしさときめき祭り	令和2年度	「赤花そば栗橋やさしさときめき祭り」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を設定します。	栗橋行政センター 地域振興係	令和6年11月17日(日)に栗橋文化会館、栗橋B&G海洋センターで開催されました。約7,000人が来場され、生涯学習意識の醸成が図れました。	実行委員会役員の高齢化により、今後、実施できない催事ができる可能性があります。
	102	コミュニティセンターまつり※再掲(連番No.55)	平成22年 度(推定)	コミュニティセンターまつりによる作品展示と演技発表を実施することで、学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を設定します。	生涯学習課	令和6年度は8地区で開催しました。 ・清久地区:9月28日(土)、29日(日)(清久コミュニティセンター)約720人参加 ・江面地区:11月30日(土)、12月1日(日)(南コミュニティセンター、江面小学校)約200人参加 ・久喜中央地区:12月6日(金)～12月8日(日)(久喜中央コミュニティセンター)約331人参加 ・青葉地区:令和7年2月1日(土)、2日(日)(青葉コミュニティセンター)約250人参加 ・鷲宮地区:令和7年2月8日(土)、9日(日)(鷲宮中央コミュニティセンター)約300人参加 ・菖蒲地区:令和7年2月15日(土)、16日(日)(森下コミュニティセンター)約330人参加 ・栗橋地区:令和7年2月15日(土)、16日(日)(栗橋中央コミュニティセンター)約320人参加 ・久喜東地区:令和7年3月15日(土)、16日(日)久喜東コミュニティセンター)約720人参加	地区毎の集客方法や事業実施が望まれるため、各地区運営委員会で協議していきます。
	103	生涯学習研修大会(まなびすとフォーラム)	平成9年度 (推定)	まちづくりをテーマに、市民の意見交換の場として開催します。	生涯学習課	久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」は、6月8日(土)に生涯学習施設「まなびすポット」で実施しました。「ささえあう地域と学校」というテーマで、93名の方に参加いただきました。 8グループに分かれて、活発な意見交換、討論をすることができました。	一般参加者の更なる増加につながるよう、広報紙や市ホームページのほか、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を積極的に活用して情報を発信して行く必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 2 発表機会の充実や学習意欲の向上					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	104	生涯学習推進大会(まなびすと久喜)	昭和63年度	生涯学習をしている方の学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場として開催します。	生涯学習課	久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は令和7年2月2日(日)に生涯学習施設「まなびすポット」で開催しました。 当日は、「笑顔広がるまなびの仲間」を大会テーマに、各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただくことができました。 ○来場者数約900人 ○発表会・イベント出展参加団体 ・発表会16団体 ・イベント出展19団体	参加者の更なる増加につながるよう、広報紙や市ホームページのほか、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を積極的に活用して情報を発信して行く必要があります。
	105	市民文化祭事業、文化振興事業の実施	平成20年度(推定)	文化活動への参加・鑑賞・発表の機会を設定します。	文化振興課	久喜市美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバルなど、各種の文化事業を実施し、市民に対して、発表及び鑑賞の機会を提供しました。また、市内各文化団体連合会等との共催で、文化祭事業を実施しました。(来場者数)美術展1,130人、市民芸術祭383人、吹奏楽フェスティバル1,575人	文化活動への参加が減少傾向になっていることから、SNSを使用した情報発信など、周知方法を検討します。
	106	よろこびのまち久喜マラソン大会※再掲(連番No.79)	平成27年度	市のスポーツ振興と市の認知度の向上のため、だれもが気軽に参加できる大会を開催します。	スポーツ振興課	期日: 令和7年3月23日(日) 会場: 総合運動公園スタート・ゴール 種目: ハーフ、ハーフペアリレー、3km、1.5km 参加者数: 3,050人	大会全体の雰囲気を知ってもらい、さらに申込者を増やすための工夫を検討します。
	107	くき健康ウォーク※再掲(連番No.80)	平成27年度	市民の健康と体力の増進を図るとともに、コミュニティ意識を高め、心身ともに健康で心豊かなまちづくりを目指すために開催します。	スポーツ振興課	期日: 令和6年10月20日(日) コース: 久喜地区 内容: 地図をもとに、ウォーキングをしながらチェックポイントの写真を撮り、制限時間内にゴールを目指すフォトロゲイニングを開催しました。 参加者数: 73名	より多くの方に参加いただけるように、市内外に情報発信をしていく必要があります。
	108	スポーツ体験イベント※再掲(連番No.81)	令和4年度	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るため、スポーツ体験イベントを実施します。	スポーツ振興課	日時: 令和6年12月22日(日) 会場: 毎日興業アリーナ久喜 概要: スポーツブースや健康ブースを設置し、来場者に運動の楽しさを知るきっかけを提供。 参加者数: 延2,917名	市民が様々なスポーツに触れるきっかけを提供するとともに、健幸を実感できるイベントとして開催しました。今後も時勢に合わせた内容となるよう企画・実施していきます。
	109	ふれあいスポレク・フェスタ※再掲(連番No.47.83)	平成22年度	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時: 令和6年12月16日(月) 会場: 久喜特別支援学校 概要: 若い世代にもスポーツの楽しさを伝えるために、訪問型スポーツ体験会を開催しました。 参加者数: 31名	障がいのある方にスポーツを体験してもらう機会を増やすために、引き続き、訪問型体験会の開催を検討していきます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 2 発表機会の充実や学習意欲の向上					
具体的施策	理 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
学習意欲の向上	110	吹奏楽フェスティバル	平成2年度	市内中学校や高等学校、市民吹奏楽団に出場する機会を提供します。	文化振興課	埼玉県芸術文化祭地域文化事業参加事業として『音楽の街・久喜市』吹奏楽フェスティバル」を11月3日(日)に開催しました。 (出演団体16団体)①久喜中学校②久喜南中学校③久喜東中学校④太東中学校⑤菖蒲中学校⑥栗橋東中学校⑦鷺宮中学校⑧鷺宮東中学校⑨鷺宮西中学校⑩久喜高等学校⑪久喜北陽高等学校⑫鷺宮高等学校⑬久喜市民吹奏楽団⑭しょうぶ・しみる吹奏楽団⑮鷺宮ウインドアンサンブル⑯花咲徳栄高等学校(会場)久喜総合文化会館大ホール(来場者数)1,575人	来場者へのアンケートでは、「フラッシュ撮影している人がいた」、「演奏中に出入りする扉の音がうるさかった」など、来場者のマナーに対する苦情が多かったことから、来場者へ音楽鑑賞の留意事項を記載したチラシを配布します。
	111	街かどコンサートの充実	平成27年度	音楽愛好家や音楽家の発表の機会をつくり、だれもが気軽に音楽を楽しめるコンサートを開催します。	文化振興課	街かどコンサートを企画し、8回開催しました。 ①令和6年6月15日(土)開催140人来場 会場:ブルーフェスティバル会場 ②令和6年8月10日(土)開催110人来場 会場:久喜総合文化会館ふれあい広場 ③令和6年11月7日(木)開催56人 会場:久喜総合文化会館 ④令和6年12月1日(日)開催1,341人 会場:モラージュ菖蒲滝のコート ⑤令和7年2月2日(日)開催38人 会場:桜田コミュニティセンター集会室 ⑥令和7年3月1日(土)開催121人 会場:桜田コミュニティセンター集会室 ⑦令和7年3月23日(日)開催98人 会場:久喜マラソン大会コース沿道 ⑧令和7年3月30日(日)開催109人 会場:久喜菖蒲公園	若い世代の街かどコンサートへの参加が少ないことから、久喜駅東口駅前広場において、ストリートライブ形式の街かどコンサートを実施します。
	112	各地区市民体育祭※再掲(連番No.84)	平成26年度	市民スポーツ・レクリエーション活動を推進し、市民の交流の場として各地区で開催します。	生涯学習課	令和6年度は5地区で開催しましたが、衆議院選挙及びグラウンドコンディション不良のため3地区は中止しました。 ・江面地区:9月29日(日)(江面小学校)約550人 ・久喜東地区:10月6日(日)(太田小学校)約650人 ・栗橋地区:10月6日(日)(南栗橋スポーツ広場)約250人 ・清久地区:10月12日(土)(清久小学校)約580人 ・鷺宮地区:10月13日(日)(鷺宮運動広場)約1,400人 ・青葉地区:10月27日(日)選挙のため未実施 ・菖蒲地区:10月27日(日)選挙のため未実施 ・久喜中央地区:11月3日(日)グラウンドコンディション不良のため中止 各地区体育祭においては、関係者の方と競技の見直しや実施方法を含めた協議を行いながら、参加者及び運営側の安全を確保し、体育祭を実施することができました。	アンケート結果に基づき、各地区毎の実情に合わせた体育祭事業を提供します。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 3 ボランティア活動の充実					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	113	久喜市赤十字奉仕団員	平成26年 度(推定)	災害が起きたときに助けあえる地域づくり に向けて、炊き出し訓練や募金活動等を行 います。	社会福祉課	令和6年9月7日(土)に鷲宮地区防災訓練の炊き出し 訓練に参加しました。10月には、深谷市で開催された 「埼玉県赤十字奉仕団炊き出しサミット」に参加し、近 隣奉仕団との交流を図りました。また、能登半島での 地震及び大雨災害への支援として、12月にアリオ鷲 宮で募金活動を行いました。	奉仕団員の会員数を増やすため に、近隣の小学校等に向けてイベ ントの実施を試み、活動内容の周 知に努めます。
	114	手話奉仕員養成講座	昭和56年 度(推定)	手話の知識や技術を習得し、聴覚障がい 者を支援するボランティアを養成します。	障がい者福祉課 久喜市社会福祉 協議会	【障がい者福祉課】 令和6年度久喜市地域生活支援事業として、久喜市 社会福祉協議会へ委託しました。 【久喜市社会福祉協議会】 入門編を6月4日(火)～10月29日(火)まで全21回で 菖蒲コミュニティセンターにて実施し、7名が修了しまし た。基礎編は5月24日(金)～11月22日(金)まで全25 回でふれあいセンター久喜にて実施し、11名が修了し ました。	【障がい者福祉課】 受講者が参加しやすい会場を検討 していきます。 【久喜市社会福祉協議会】 講座が長期間に渡るため、会場確 保や機材準備が課題です。また、 定員を超えた時のフォローや対応 が必要です。
	115	各種ボランティア養成講座や 講習会※再掲(連番No.88)	昭和56年 度(推定)	地域ボランティアの養成、ボランティア団 体の活動助成、地域福祉の振興に努めま す。	久喜市社会福祉 協議会	共生支援事業「子どもの居場所づくりから共生社会を 考える」を5月11日(土)に実施し45名の参加がありま した。また、ガイドヘルプボランティア講座を6月7日 (金)、14日(金)に実施し、7名受講、8月29日(木)、9 月2日(月)に実施し、6名受講、点訳ボランティア養成 講座を6月12日(水)～9月10日(月)に全12回で実施 し、4名修了、音訳ボランティア養成講座を9月18日 (火)～令和7年2月5日(水)に全11回で実施し、8名修 了しました。	受講者が参加しやすい内容や会場 を検討していきます。
	116	学校応援団コーディネーター 研修会	平成22年 度	学校応援団の方を対象に研修会を開催 し、コーディネーターを養成します。	指導課	令和6年度は久喜市教育委員会主催の研修会を5月 29日(水)に実施しました。 学校応援団では市内全ての小・中学校において、学 習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施 しており、市内延べ1万人を超える方が参加しました。 コーディネーターはその調整役として、久喜市学校応 援団推進事業実施要領や研修内容に基づき各校に 配置され、活動しました。 保護者や地域住民の力を学校運営に生かすことがで きました。	事例発表だけでなく、コーディネ ーター間での情報交換を図る取り組 みも検討していきます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 3 ボランティア活動の充実					
具体的施策	理 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
ボランティア・コー ディネーターの養成	117	ボランティア情報の充実	平成21年 度	ボランティア活動に関する活動相談、情報交換、情報提供等、活動の活発化を目指し、ボランティア情報を充実します。	生涯学習課 久喜市社会福祉協議会	【久喜市社会福祉協議会】 5月28日(火)ふれあいセンター久喜、5月29日(水)鷺宮西コミュニティセンター(おおとり)にて登録ボランティア団体等代表者会議を実施し、計46名の参加がありました。団体同士の情報交換を行いました。また、9月7日(土)には毎日興業アリーナ久喜サブアリーナにて、登録ボランティア団体研修会を開催し情報交換を行い、23名の参加がありました。ホームページ、YouTubeくき社協ちゃんねる、情報配信サービス、LINEにおいて、ボランティア情報や助成金情報を紹介しています。 【生涯学習課】 放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)にて、指導者サポーター、活動サポーター、下校サポーターといったボランティア活動の情報提供をするため、チラシを作成し、市内児童に配布しました。	【久喜市社会福祉協議会】 ホームページの閲覧やLINEの友だち登録が増えるような情報発信を検討していきます。 【生涯学習課】 今後、更に幅広い事業で、ボランティア活動への情報の提供を実施していく必要があります。また、小中学校のボランティア手帳の活用・連携が必要です。
	118	生涯学習ボランティアの育成と活用※再掲(連番No.92)	昭和54年 度(推定)	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかす生涯学習支援ボランティアを育成し活用します。	生涯学習課	久喜市高齢者大学では、コミュニティセンターまつり、市民芸術祭といった事業にボランティアとして参加しました。 久喜市市民大学では、コスモスフェスタなどの事業に運営ボランティアとして参加しました。 生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかしていけるよう、ボランティアを育成します。	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかせるよう、ボランティア活動の情報を提供し、活動の場へつなげていく必要があります。
	119	郷土資料館ボランティアの養成	平成21年 度	調査、資料整理等の活動に協力するボランティアを養成します。	郷土資料館	令和6年度のボランティア登録人数は25人です。 令和6年度の郷土資料館ボランティアの育成に関する活動を以下のとおり実施しました。 ①子ども向けの講座と展示案内 主な活動内容は、子ども向け講座の「子ども歴史広場」・「郷土資料館まつり」の準備・運営事業と小学校の社会科見学の際の展示案内です。子ども向け講座の準備・運営に係る活動を22回実施し、展示案内は8回実施しました。 ②古文書整理補助 主な活動内容は、資料館で収蔵している古文書の整理で、文書整理指導員の指導のもと行いました。文書整理補助は40回実施しました。	ボランティアの講座運営や展示案内、古文書整理の能力向上のため、ボランティアの意見を取り入れながら、学芸員や文書整理指導員によるボランティアの養成を図っていく必要があります。また、ボランティアの高齢化が課題となっており、継続的なボランティア活動のためには、新規のボランティア募集を継続して行っていく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 3 ボランティア活動の充実					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
ボランティア活動の 場の充実		120 イベントボランティアの充実	平成27年 度(スポー ツ振興課) 昭和63年 度(生涯学 習課)	コスモスふれあいロードの種まきや市民 まつり、生涯学習推進大会をはじめとした 各種イベントにおいて、広く市民からボラ ンティアを募集します。	商工観光課 スポーツ振興課 生涯学習課	【商工観光課】 令和6年8月3日(土曜日)実施のコスモスふれあい ロードの種まきでは728人、令和6年10月20日(日曜 日)実施のくきストリートフェスティバルでは、20人の方 がボランティアとして活動しました。 【スポーツ振興課】 期日:令和7年3月23日(日) 会場:総合運動公園スタート・ゴール 内容:円滑に大会運営が図られるようスポーツ団体等 から運営ボランティアを募集しました。 ボランティア申込人数:742名 【生涯学習課】 令和7年2月2日(日)に実施した生涯学習推進大会 「まなびすと久喜」では、久喜市高齢者大学や市内中 高生など、広く市民からボランティアを募集し、大会運 営を行いました。 ・当日ボランティア参加人数67人	【商工観光課】 今後、さらなる充実を図るため、より 多くの周知方法を検討する必要があります。 【スポーツ振興課】 円滑に大会運営が図られるよう、 様々な方法で公募ボランティアを 募っていく必要があります。 【生涯学習課】 コロナ禍以降、一般公募のボラン ティアが集まりにくい状況であること から、増加につながるよう、広報紙 や市ホームページのほか、市公式 SNS(X、Facebook、LINE等)を積極 的に活用して情報を発信して行く必 要があります。
		121 夏のボランティア体験の充実	昭和59年 度(推定)	夏休み中に気軽に参加できるボランティ ア体験を実施します。	久喜市社会福祉 協議会	7月から9月の夏休み期間に23メニュー163人の参加 がありました。手話体験、エコキャップボランティア体 験、子ども食堂活動体験、STT体験、傾聴ボランティ ア講座、施設ボランティア等を実施しました。	学生に限らず、全世代の参加につ ながる企画を検討していきます。
		122 清掃美化活動	平成23年 度	住民との協働による道路環境づくりを推 進します。	建設管理課	「道路愛護事業」として、行政区単位で清掃美化活動 を実施しています。4月の区長会で協力依頼後、180 の行政区から、道路清掃及び除草等について実施報 告書が提出されました。 「道路里親事業」では、35団体(令和6年度、2団体を 新規認定)を道路里親として認定しており、歩道及び 植樹帯の清掃作業等を実施しています。また、団体 に対し、活動ヒアリングやSNSを活用した活動の発信、 ホームページにて団体の紹介を行いました。	安全で通行しやすい道路環境を維 持管理していくには、住民との協業 による清掃美化活動が不可欠で す。道路愛護事業の参加率や道路 里親団体の新規認定など、道路愛 護意識のさらなる向上につながる啓 発方法や、より活動しやすい支援体 制について検討が必要と考えます。
		123 学校応援団	平成22年 度	学習支援・環境支援・安全安心支援・部 活動支援等の学校の支援をします。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、学 習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施 しており、令和6年度は延べ1万人を超える方が参画し ました。久喜市地域学校協働活動推進員設置要綱に 基づき、各学区3名程度配置された推進員を中心に学 校支援を推進しました。保護者や地域住民の力を学 校運営に生かすことができました。	開かれた学校や特色ある学校づく りに向け、事業の維持・推進を図っ ていきます。特に、令和7年度は、久 喜市地域学校協働活動推進員の 新たな2年間の委嘱の年となるた め、生涯学習課と連携し、ねらいを 委員の方と共有できるような研修会 を検討します。
		124 小・中学生ボランティア手帳 の活用推進	令和元年 度	市内小・中学生にボランティア手帳を配布 し、ボランティア意識の向上を図るととも に、ボランティア活動に関する情報を提供 します。	生涯学習課	令和6年5月に市内各小学校に、新1年生分のボラン ティア手帳を配布しました。 各小中学校からボランティア手帳の配布希望があっ た場合、速やかに配布し、ボランティア意識の向上を 図ることができました。なお令和6年度のボランティア 手帳達成者(20回ボランティア達成者)は101名でし た。	小学校・中学校へのボランティア情 報の提供と児童生徒の地域ボラン ティアへの参画が一層必要である。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 3 ボランティア活動の充実					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	125	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)※再掲(連番No.18)	平成16年度	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和6年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに居場所を提供することができています。 ・参加児童数:2,838人 ・開設講座数:371講座 ・実施委員人数:370人 ・児童参加率:42.7%	子どもたちの興味・関心を高めるために新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。
	126	ライフステージに応じたボランティア活動の充実	平成16年度(推定)	人生各期の特性に応じたボランティア活動への情報の提供に努めます。	生涯学習課	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)にて、指導者サポーター、活動サポーター、下校サポーターといったボランティア活動の情報提供をするため、チラシを作成し生涯学習課窓口に配架しました。令和6年度のサポーター数は1,990名でした。	今後、更に幅広い事業で、ボランティア活動への情報の提供を実施していく必要があります。さらに、ボランティア参加者へ自分たちの活動の成果を実感させることが必要です。
	127	コミュニティセンターまつり※再掲(連番No.55.102)	平成22年度(推定)	コミュニティセンターごとに、公民館事業運営委員と地域住民との協働により、各コミュニティセンター利用団体の展示や演技発表等を実施します。	生涯学習課	令和6年度は8地区で開催しました。 ・清久地区:9月28日(土)、29日(日)(清久コミュニティセンター)約720人参加 ・江面地区:11月30日(土)、12月1日(日)(南コミュニティセンター、江面小学校)約200人参加 ・久喜中央地区:12月6日(金)～12月8日(日)(久喜中央コミュニティセンター)約331人参加 ・青葉地区:令和7年2月1日(土)、2日(日)(青葉コミュニティセンター)約250人参加 ・鷺宮地区:令和7年2月8日(土)、9日(日)(鷺宮中央コミュニティセンター)約300人参加 ・菖蒲地区:令和7年2月15日(土)、16日(日)(森下コミュニティセンター)約330人参加 ・栗橋地区:令和7年2月15日(土)、16日(日)(栗橋中央コミュニティセンター)約320人参加 ・久喜東地区:令和7年3月15日(土)、16日(日)久喜東コミュニティセンター)約720人参加	地区毎の集客方法や事業実施が望まれるため、各地区運営委員会で協議していきます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 1 人材ネットワークの充実					
具体的施策	理 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
人材の活躍の場つ くり	128	市民活動団体の紹介	平成21年 度	地域交流や仲間づくりのために継続的に活動している市民活動団体を紹介します。	市民生活課	市民活動情報コーナー及び市ホームページで、市民活動を行う団体の情報提供を実施しました。 市ホームページにおいて、市民活動団体の活動内容等を紹介し(3月31日現在:241団体)、市広報紙への掲載依頼や市内18施設に設置された市民活動情報コーナーへのチラシの配架等でイベント等の活動情報の広報支援を行っています。	市民活動団体の情報提供は任意の登録制であるため、市内すべての市民活動団体の情報を網羅していません。未登録の団体及び新規に立ち上げたばかりの団体にも本制度の利用を促していく必要があります。
	129	市民参加の推進	平成24年 度	市民参加の情報及び機会の提供、啓発を行い、市民が市政に対して意見、または提案することができる市民の参加を推進します。	市民生活課	令和6年度は、広報くき、市ホームページ、市民参加コーナー、市SNS、市民参加推進員(まちづくりサポーター)への情報提供の方法により、市民参加の情報及び機会の提供、啓発を実施しました。市民が市政に対して、意見することができる制度の1つである市民意見提出制度(パブリック・コメント)につきましては5件実施しました。 また、令和5年度に引き続き、12月に若い世代と市長との座談会を実施し、市長と市内在住の大学生8名がまちづくりについて話し合いました。	若い世代の市民参加が少なく、幅広い世代の市民参加に繋がっていないため、今後も市民参加の情報及び機会の提供、啓発方法について検討する必要があります。また、若い世代と市長との座談会のように、若年層の市民参加を促進する事業を継続して実施する必要があります。
	130	活動機会提供の充実	昭和63年 度(生涯学 習課) 平成27年 度(スポー ツ振興課)	市民まつり、生涯学習推進大会、市民体育祭、久喜マラソン大会等の各種イベント及び子どもたちの様々な体験活動におけるボランティア活動や地域活動に学習の成果を幅広くいかせる活動機会の提供を充実します。	商工観光課 スポーツ振興課 生涯学習課	【商工観光課】 令和6年10月20日(日)実施のくきストリートフェスティバルは、20名の方がボランティアとして活動しました。 また、ステージイベント・出展においては、市内の学校・幼稚園6校が参加しました。 【スポーツ振興課】 期日:令和7年3月23日(日) 会場:総合運動公園スタート・ゴール 内容:円滑に大会運営が図られるようスポーツ団体等から運営ボランティアを募集しました。 ボランティア申込人数:742名 【生涯学習課】 久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は令和7年2月2日(日)に生涯学習施設「まなびすポット」で開催しました。 当日は、「笑顔広がるまなびの仲間」を大会テーマに、各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただくことができました。 ○来場者数約900人 ○発表会・イベント出展参加団体 ・発表会16団体 ・イベント出展19団体	【商工観光課】 今後、さらなる充実を図るため、より多くの周知方法を検討する必要があります。 【スポーツ振興課】 円滑に大会運営が図られるよう、様々な方法で公募ボランティアを募っていく必要があります。 【生涯学習課】 参加者の更なる増加につながるよう、広報紙や市ホームページのほか、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を積極的に活用して情報を発信して行く必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 1 人材ネットワークの充実					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	131	学校応援団※再掲(連番No123)	平成22年度	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等を行います。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、学習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施しており、令和6年度は延べ1万人を超える方が参画しました。久喜市地域学校協働活動推進員設置要綱に基づき、各学区3名程度配置された推進員を中心に学校支援を推進しました。保護者や地域住民の力を学校運営に生かすことができました。	開かれた学校や特色ある学校づくりに向け、事業の維持・推進を図っていきます。特に、令和7年度は、久喜市地域学校協働活動推進員の新たな2年間の委嘱の年となるため、生涯学習課と連携し、ねらいを委員の方と共有できるような研修会を検討します。
	132	公民館事業運営委員の任用	令和2年度	主体的な学習活動を支援するため、公民館事業運営委員による公民館事業の企画運営を行います。	生涯学習課	令和6年度末時点で、8地区80人定員(1地区10人定員)のところで73人任用しています。 ・久喜中央地区:10人 ・江面地区:8人 ・久喜東地区:10人 ・青葉地区:9人 ・清久地区:9人 ・菖蒲地区:8人 ・栗橋地区:10人 ・鷺宮地区:9人 任用された各地区の公民館事業運営委員との協議(運営委員会)を経て、令和6年度事業の実施しました。	年度末に退任予定の方もおり、5地区で定員割れを起こしております。体育祭や公民館まつり等マンパワーが必要な事業があるため、随時募集をかけて充足するように努めます。
	133	生涯学習推進会議の充実	昭和63年度(推定)	生涯学習事業の推進に関する基本的指針の策定、生涯学習の普及・奨励を推進する生涯学習推進会議を充実します。	生涯学習課	令和6年度は第1回会議を9月30日(月)に、第2回会議を3月26日(水)に実施しました。 生涯学習事業(まなびすとフォーラム、まなびすと久喜等)の計画・報告や、第2次久喜市生涯学習推進計画(まなびすとプラン2)の点検・見直しを図りました。	限られた会議回数で、円滑に情報の共有化を図る必要があります。
	134	生涯学習推進部の拡充	平成3年度	市民の手による生涯学習のまちづくりを総合的に推進する生涯学習推進部を拡充します。	生涯学習課	令和7年3月31日現在、14名の委員で構成されています。 今年度の生涯学習推進部視察研修は以下のとおり実施しました。 ・実施日:令和6年11月26日(火) ・視察先:府中市生涯学習センター、航空自衛隊府中基地	生涯学習推進部委員の数が減少傾向にあることから、久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」や久喜市生涯学習研修大会まなびすとフォーラム、久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」を通じて、生涯学習推進部の活動を広く周知し、委員数の増加につなげていく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 1 人材ネットワークの充実					
具体的施策	理 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
企業による学習支 援の推進	135	社会体験チャレンジ	平成23年 度	キャリア教育の一環として、中学生が職 場体験を行い、働くことの意義について学 びます。	指導課	全ての中学校において、第2学年の生徒が職場体験 学習を実施しました。体験を通じ、生徒に働くことの意 義や社会性を学ぶ機会を提供することができました。	職場体験学習に協力いただける事 業所の確保が必要となります。
	136	生涯学習イベント交流の推進	昭和63年 度	生涯学習推進大会等の生涯学習イベント において、企業・事業所等の参加を促進 し、地域社会を構成する一員として学習 交流を深めます。	生涯学習課	久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は令和7 年2月2日(日)に生涯学習施設「まなびすポット」で開 催しました。 当日は、「笑顔広がるまなびの仲間」を大会テーマに、 各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供 し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学 習の楽しさや素晴らしさを体験していただくことがで きました。 ○来場者数約900人 ○発表会・イベント出展参加団体 ・発表会16団体 ・イベント出展19団体	新たな企業・事業所等の参加につ ながるよう、広報紙や市HP等で生 涯学習イベントの開催について広く 周知していく必要があります。
	137	企業による出前講座	平成24年 度(推定)	企業に蓄積された知識や技能を、市民の キャリアアップ等の学習活動にいかせる ような、企業による出前講座を実施しま す。	生涯学習課	企業による生涯学習出前講座は2講座ありますが、令 和7年3月31日時点で、当該講座への申し込みが1件 ありました。	出前講座の周知を図り、更なる活 用を推進する必要があります。
	138	事業所見学	平成7年度 (推定)	市民大学において市内の事業所を見学 し、地域社会との連携について学習しま す。	生涯学習課	令和6年度は、次のとおり実施しました。 ・9月27日(金)市民大学1年生講座「下水道処理に学 ぼう」公益財団法人埼玉県下水道公社古利根支社 ・11月25日(月)市民大学1年生講座「ゴミ問題を考え よう」久喜宮代清掃センター ・令和7年1月29日(水)市民大学1年生「企画講座」新 ごみ処理施設の現場見学	更なる学習の充実に向けて、学生 の意見を取り入れ、講座の再編を 検討していく必要があります。
	139	大人の社会科見学	平成22年 度(推定)	公民館事業において、事業所見学を実施 します。	生涯学習課	令和6年度は2地区で実施し、延べ49人が参加しまし た。 久喜中央地区26人、菖蒲地区23人	各地区人気事業で応募者多数のため抽選となっている。そのため、参 加枠を増やすか各地区運営委員と 協議していきます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実					
具体的施策	理 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
学校施設の開放と活用	140	学校体育施設の開放の推進	平成22年度	小・中学校の体育館、校庭を市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放します。	スポーツ振興課	小中学校32校の体育施設を地域のスポーツ団体等に開放しました。 登録団体数:234団体 主な修繕等 ・栗橋小学校夜間照明設備修繕 令和6年8月完了 ・小学校吊下式バスケットゴール点検業務委託 令和6年10月完了 ・青葉小学校他吊下げ式バスケットゴール改修工事 令和7年1月完了 ・久喜東小学校吊下げ式バスケットゴール修繕 令和7年2月完了 ・久喜北小学校吊下げ式バスケットゴール改修工事 令和7年3月完了	令和6年度に実施した吊下式バスケットゴールの点検において、結果が不良となった箇所について、引き続き修繕を行っていきます。
	141	総合型地域スポーツクラブの創設支援	平成22年度	地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの創設を支援します。	スポーツ振興課	実施期間: 令和6年4月から令和7年3月まで 内容: 市広報紙や市ホームページにおいて、団体活動を掲載し、広く総合型地域スポーツクラブの活動を周知しました。 市内にある総合型地域スポーツクラブ ・スポーツコミュニティ久喜 ・サンワ×エナジークラブ久喜支部	中学校の地域移行に向けて更に活動を支援していく必要があります。また、新たなクラブ創設を図るため、周知や相談体制を強化します。
	142	特別教室等の開放の推進	平成15年度	特別教室等で子どもたちが地域住民と新たな学習活動や居場所として交流、連携の場となるように施設開放を検討し、関係機関と調整します。	生涯学習課	市民の文化活動及び生涯学習活動の充実を図るため、上内小学校の「ふれあいの部屋」を開放していますが、令和6年度の利用はありませんでした。	令和7年4月30日の上内小学校廃校に伴い「ふれあいの部屋」も廃止しました。今後、開放可能な教室等について、調査・研究を進めていきます。
	143	情報インフラの整備	令和4年度	各施設において、フリーWi-Fiの利用ができるよう情報インフラの整備に努めます。	情報推進課	引き続き、コミュニティセンター等の公共施設21施設に設置された公衆無線LANの運用を行いました。	施設の用途に応じて新設・増設の検討を行います。
	144	公文書館の充実	平成5年度	公文書館所蔵資料の充実を図ります。	公文書館	公文書のライフサイクルに基づき所定の保存年限を経過した公文書を、公文書館職員が1点1点確認しながら評価選別を行い、歴史公文書として保存しました。所蔵件数は、4,225件増加しました。これらの所蔵資料は、閲覧等により市民の利用に供しています。	引き続き評価選別を行い、歴史公文書を適切に保存していきます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	145	芸術文化作品の映画鑑賞等 各種のイベント	平成元年度(市民生活課)平成20年度(推定)(文化振興課)	地域文化の振興を図り、市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらすため、各種の自主文化事業を開催します。	市民生活課 各文化会館 文化振興課	【市民生活課】 指定管理者により、音楽コンサートや映画鑑賞会など、3館合計で39の自主事業が実施完了しました。自主事業の実施により、文化芸術活動の機運を高めるとともに、地域全体の文化振興に寄与することができました。 【文化振興課】 久喜市美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバルなど、各種の文化事業を実施し、市民に対して、発表及び鑑賞の機会を提供しました。また、市内各文化団体連合会等との共催で、文化祭事業を実施しました。(来場者数)美術展1,130人、市民芸術祭383人、吹奏楽フェスティバル1,575人	【市民生活課】 各館の施設や規模を活かしながら、市民ニーズの高い自主事業を実施していきます。 【文化振興課】 文化活動への参加が減少傾向になっていることから、SNSを使用した情報発信など、周知方法を検討します。
	146	子どもをサポートする事業の 充実	平成2年度(児童センター)昭和57年度(鷺宮児童館)	コミュニティセンター、図書館、児童センター等において、子どもの体験活動等のプログラムを拡充し、子どもをサポートする事業を充実します。	こども育成課	【児童センター】 令和6年度は小学生以上向けに51事業を企画し、51事業すべて開催できました。夏休み期間に集中的に小学生向けの講座を開催し、その後は体育事業、うどん作りなどの体験型の事業を実施しました。 【鷺宮児童館】 令和6年度は小学生以上向けに11事業を企画し、11事業すべて開催できました。夏休み期間では電気教室をはじめ、小学生向けの事業を集中的に実施しました。	参加者の少ない事業があるため、魅力的な企画や、事業の効果的な周知方法を考えていく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実					
具体的施策	理 系	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
生涯学習関連施設 の環境整備	147	スポーツ施設の充実	平成22年 度	市民にとって利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の充実に努めます。	スポーツ振興課	指定管理者により、適正かつ効率的な施設の管理運営を行いました。 老朽化した施設の改修工事等を実施しました。 主な改修工事等 ○体育施設管理事業 ・栗橋B&G海洋センター地盤沈下補修工事 令和6年9月完了 ○体育施設改修事業 ・総合体育館手すり設置工事 令和7年3月完了 ・総合体育館(第1体育館)ポンプユニット更新工事 令和6年6月完了 ・南栗橋スポーツ広場整地工事 令和6年10月完了 ・栗橋B&G海洋センターバスケットゴール改修工事 令和6年10月完了 ・栗橋B&G海洋センタープール上屋鉄骨塗装工事 令和6年12月完了 ・桜田運動公園テニスコート改修工事 令和6年12月完了 ・鷺宮体育センター屋根改修工事 令和7年2月完了 ○総合運動公園施設整備事業 ・総合運動公園改修工事設計業務委託 令和6年12月完了 ○総合体育館大規模改修事業 ・総合体育館大規模改修工事 令和7年2月完了	市民に安全で快適なスポーツ・レクリエーション施設を提供するため、不具合箇所は速やかに修繕すると共に、老朽化した施設は計画的に改修していく必要があります。 総合運動公園に新たに整備するスケートボード場及び3X3バスケットボール場は、多くの市民に利用されると共に、大会誘致やプロチームとの連携など、地域の活性化に資するような施設となるよう整備する必要があります。
	148	学校図書館と市立図書館の連携の充実	令和元 年度	学校図書館と市立図書館の連携を推進します。	指導課 生涯学習課	【生涯学習課】 学校訪問事業を市内全小学校で実施しました。(学校訪問事業実施学校数 21校中21校実施) 学校への団体貸出を実施しました。(学校への団体貸出冊数1,230冊) 学校と連携した市立図書館利用券の発行を行い、市立図書館及び電子図書館の利用促進を図ります。 (市内全小学校の1年生、青毛小学校2～6年生、久喜東小6年生、太田小6年生、清久小学校2・5年生、三箇小学校2～6年生、栗橋小学校2～6年生、東鷺宮小学校2～6年生、桜田小6年生、砂原小6年生に実施)	【生涯学習課】 学校と連携した市立図書館利用券の発行について、毎年新1年生の登録を実施し、未実施の学年についても順次登録を進めていく予定です。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実					
具体的施策	理 系	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	149	公民館事業の充実	平成22年度(推定)	主体的な学習活動を支援するため、様々な公民館事業を各コミュニティセンター等で実施し、内容を充実します。	生涯学習課	令和6年度の公民館事業につきましては91事業を実施し、延べ10,946人の参加がありました。講座の参加人数にはまつりの来場者数を含みます。 ・久喜中央地区:10事業508人(1事業中止) ・江面地区:10事業1,371人(1事業中止) ・久喜東地区:11事業1,920人(1事業中止) ・青葉地区:10事業399人(1事業中止) ・清久地区:10事業1,629人 ・菖蒲地区:10事業448人(1事業中止) ・栗橋地区:15事業2,484人 ・鷺宮地区:13事業2,154人 ・久公連事業:2事業33人 各地区で、参加者に対して生涯学習のきっかけとなりました。	各地区ごとの特色に合わせた彩りある公民館事業を提供していきます。
	150	図書館施設の充実	令和元年度	図書館施設設備の充実を図り、おはなし会や映画会、各種講座を実施します。	生涯学習課	紙媒体の広報くきや図書館だよりによる情報提供だけでなく、図書館ホームページやLINE、SNS等のインターネットを活用した情報発信を行うことで、図書館自主事業(各種講座)の周知に努めました。「久喜市電子図書館」の周知に努め、定期的な資料の収集を進めました。 ・久喜市電子図書館タイトル数4,436点 ・電子雑誌の読み放題サービス278誌 5月にセルフ貸出機、セルフ返却機(中央・鷺宮)、セルフ予約棚(中央)を館内に設置する等、施設設備を充実させることで、図書館利用の促進を図りました。	ICTのさらなる活用を進め、図書館サービスを向上させることで、新たな利用者獲得につなげていく必要があります。
	151	生涯学習関連施設有効利用の推進	平成11年度(推定)	学校、コミュニティセンター、図書館、体育館、郷土資料館、文化会館等の生涯学習関連施設を学習活動に有効活用しやすいように仕組みを整え、地域ぐるみの総合的な学習環境を整備します。	生涯学習課 郷土資料館	【生涯学習課】 令和4年度3月に開設した生涯学習施設「まなびすポット」において、久喜市市民大学・高齢者大学の講座を中心に、人材バンクや出前講座の公開講座、生涯学習推進部による活動、各種会議、高齢者大学生の自主事業での活動等、幅広い学習環境を提供しています。 【郷土資料館】 郷土資料館では、展示だけでなく、図書閲覧コーナーの利用や学芸員によるレファレンス、各種講座の実施等、学習活動が行える環境を維持しました。	【生涯学習課】 生涯学習施設の利用数は増加していますが、今後さらに利用を増やしていくため、市民大学生や高齢者大学生、生涯学習推進部に呼びかけていく必要があります。 【郷土資料館】 更なる学習環境向上のため各種講座を様々なテーマで企画立案するとともに、市立図書館のデジタルアーカイブを充実することで学習の幅を広げていく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	152	生涯学習施設「まなびすポツと」自主事業の充実	令和3年度	市民の学習活動・課題解決を支援するために、市民のニーズを反映した自主事業を提供します。	生涯学習課	久喜市市民大学・高齢者大学の講座を中心に、人材バンクや出前講座の公開講座、生涯学習推進部による活動、各種会議、高齢者大学生の自主事業での活動等、幅広く学習の場を提供しています。	今後、市民大学生や高齢者大学生を中心に、さらに使用していただけるよう呼びかけていく必要があります。
	153	郷土資料館の充実	平成12年度	郷土資料館施設設備の充実を図ります。	郷土資料館	資料の受贈、他自治体刊行物の配架、参考図書購入等を通して、館蔵資料及び館蔵資料に関する参考図書等を充実させました。	経年による施設設備の修繕や備品の更新、館蔵資料の増加に伴った収蔵スペースの確保などについて、引き続き検討していく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～		3 地域ネットワークの充実			
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
学校教育と社会教育との連携・協力	154	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)	平成29年度	保護者や地域の住民の力を学校運営にいかす「地域とともにある学校づくり」を推進します。	指導課	令和6年度は、4月15日(月)に市内全ての小・中学校の全委員集合型研修会を実施しました。実践発表後、学校毎に第1回運営協議会を行いました。また、各学校における学校運営協議会の定期的な開催に対し、指導主事が学校を訪問し、本事業の発展を推進しました。 学校の目指す運営方針に基づき、保護者や地域と学校が連携するための協議を充実させることができました。年度末には、令和7年度から2年間の任期となる新たな委員の委嘱が決定しました。	次年度より新たに2年間の委員の委嘱を行い、学校運営協議会が再始動します。新たに委員になる方も多くなるため、本事業の狙いを改めて共有するような研修会を検討していく必要があります。
	155	学校応援団※再掲(連番No.123.131)	平成22年度	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等の学校を支援します。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、学習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施しており、令和6年度は延べ1万人を超える方が参画しました。久喜市地域学校協働活動推進員設置要綱に基づき、各学区3名程度配置された推進員を中心に学校支援を推進しました。保護者や地域住民の力を学校運営に生かすことができました。	開かれた学校や特色ある学校づくりに向け、事業の維持・推進を図っていきます。特に、令和7年度は、久喜市地域学校協働活動推進員の新たな2年間の委嘱の年となるため、生涯学習課と連携し、ねらいを委員の方と共有できるような研修会を検討します。
	156	中学生学力アップ教育推進事業※再掲(連番No.15)	平成29年度	中学生の学習習慣の確立や学力の定着を図るため、放課後の学習を支援します。	指導課	令和6年度は、市内全体で283名の中学生が参加しました。県の補助金が減額となった関係で、全23回の実施となりましたが、コーディネーター・支援員の協力のもと、生徒の学習習慣の定着や学力向上に寄与することができました。	国や県の補助金を活用し実施をしていますが、毎年減額されています。併せて、コーディネーター・支援員の確保が課題となっています。
	157	地域学校協働活動の推進	令和2年度(推定)	学校と地域をつなぐコーディネーターを地域学校協働活動推進員として委嘱し、「学校を核とした地域づくり」を推進します。	生涯学習課	令和7年3月31日現在、37名の推進員で構成されています。 放課後子ども教室のサポーター探し、あいさつ運動の促進、地域住民で行われる学校の除草など、「学校を核とした地域づくり」を牽引することができています。 令和5・6年度の推進委員の任期が切れることから、令和7・8年度の推進委員の推薦を各小中学校へ依頼しました。	地域学校協働活動推進員の高齢化・後継者不足が課題です。
	158	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)※再掲(連番No.18.125)	平成16年度	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和6年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに居場所を提供することができています。 ・参加児童数:2,838人 ・開設講座数:371講座 ・実施委員人数:370人 ・児童参加率:42.7%	子どもたちの興味・関心を高めるために新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 3 地域ネットワークの充実					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
高等教育機関などの活用	159	大学公開講座の活用	昭和63年度(推定)	高等教育機関の実施する大学公開講座を紹介します。	生涯学習課	高等教育機関から受講生募集案内を受理した際に、生涯学習課窓口や生涯学習施設に案内を配架し、講座等の周知をしています。	生涯学習課窓口以外での案内・周知方法について、どのような方法が実施可能か検討を進める必要があります。
	160	高等教育機関等の積極的活用	平成24年度	市内にある県立高校や、その他の高等教育機関と連携し、専門的な学習支援を促進します。	生涯学習課	市内高校に依頼をし、令和6年6月8日(土)に開催した久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」に高校生も参加していただきました。 また、子ども大学を8月～10月に平成国際大学(加須市)及び生涯学習施設で実施しています。 令和7年2月2日(日)に開催した久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」では、鷲宮東中学校や鷲宮高校の生徒に当日ボランティアとして参加していただきました。	包括連携協定を結んでいる他の高等教育機関等について、どのような方法でイベントの開催や参加が可能かを検討する必要があります。
	161	地域住民と大学生の交流の促進	令和5年度	地域の活性化を目指し、地域の行事に学生が参加しやすい場を設け、地域住民と大学生との交流を促進します。	生涯学習課	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)にて運営に携わるサポーターを、大学生や地域住民を対象に募集しました。 大学生と地域住民との交流を促進することができました。	交流が限られた場であるため、放課後子ども教室以外での交流の場(例:地域防災や地域ボランティア等)が必要となります。
	162	子ども大学くき※再掲(連番No.19)	平成24年度	高等教育機関、久喜青年会議所と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。	生涯学習課	令和6年度は、定員50人に対して36人の申し込みがあり、次のとおり実施しました。 参加者数36人 (内訳4年生:10人5年生:16人6年生:10人) ・1日目 日程:8月25日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「入学式」「みんなで楽しもう!なんちゃってポッチャ!」 ・2日目 日程:9月15日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「子どもの権利ってなーに?」「われらHIU(エイチアイユー)探検隊!」 ・3日目 日程:9月22日(日) 会場:鷲宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「身近にある素材で違う世界を見てみよう!」 ・4日目 日程:10月5日(土) 会場:鷲宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「わが家のマイタイムラインを作ろう!!」「修了式」	子どもの知的好奇心を刺激する、より多くのカリキュラムを実施していく必要があります。 また、他の高等教育機関との連携を検討していく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 3 地域ネットワークの充実					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
生涯学習出前講座 の拡充	163	生涯学習出前講座の充実※ 再掲(連番No.57)	平成10年 度	出前講座の内容を行政職員のみならず、 民間企業、公共機関、市民へと広げ、より 充実した講座メニューを提供します。	生涯学習課	令和7年3月31日現在、24種類の講座メニューについ て、合計78件の申請がありました。78件のうち防災に 関する講座が32件を占めており、市民の防災に対す る関心が高いと考えられます。	出前講座の周知を図り、更なる活 用を推進する必要があります。
	164	生涯学習出前講座活用事業	令和5年度	市民のニーズに合った生涯学習出前講 座を生涯学習施設「まなびすポット」で開 催します。	生涯学習課	令和6年度は、公開出前講座を下記のとおり3回実施 しました。 【1回目】 講座名：防災行政について 日時：令和6年10月8日(火)9:30～11:45 申込人数：7人 参加人数：5人 【2回目】 講座名：正しく知ろう認知症 日時：令和6年12月26日(火)9:30～11:45 申込人数：5人 参加人数：5人 【3回目】 講座名：性の多様性について 日時：令和7年1月28日(火)9:45～11:15 申込人数：3人 参加人数：3人	出前講座の周知を図り、更なる活 用を推進する必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 1 情報提供体制の強化					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
多様な媒体を活用 した情報提供体制 の強化		165 広報くきの発行	平成22年 度	毎月、市民と市政をつなぐ情報を盛り込 んだ広報紙を発行します。	シティセールス課	毎月1日に広報くきを発行しており、12回発行しまし た。 広報くきは全戸配布のほか、市ホームページへの掲 載、スマートフォン向けアプリ「マチイロ」「カタポケ」で の配信など、様々な媒体で市民の方へ情報をお届け しました。 発行部数は次のとおりです。 4月号:62,500部 5月号:62,600部 6月号:62,500部 7月号:62,500部 8月号:62,500部 9月号:62,550部 10月号:62,600部 11月号:62,700部 12月号:62,650 部 1月号:62,650部 2月号:62,650部 3月号:62,700 号	広報紙等全戸配布に係る区長等の 負担軽減を図るとともに、紙使用削 減の全庁的な取り組みに伴い、広 報紙のページ数削減を行うため、掲 載内容や方法を精査する必要があ ります。 また、広報紙のデジタル化について も検討していきます。
		166 公文書館の活用	平成5年度	歴史資料として重要な市の公文書等の保 存と活用に努めます。	公文書館	当館の主な業務である公文書の「評価選別」の重要 性を広く知っていただくため、10月1日(水)から2月28 日(土)まで企画展「評価選別の成果と行政資料の 数々-菖蒲地区編-」を開催しました。	引き続き評価選別の成果を広く知っ ていただくため、企画展を開催して いきます。
		167 コミュニティセンターだよりの 作成	平成22年 度(推定)	公民館事業の紹介やお知らせ等を市民 に提供します。	市民生活課 生涯学習課	公民館だよりに相当する広報誌を作成しているのは 各地区公民館事業単位8地区中1地区(清久地区)の みです。現在生涯学習課公民館事業推進室では主体 的に作成を行っておりません。	現在作成をしておりますが、各地 区運営委員会で作成が決まった場 合は地区の特色に合わせたものを 作成致します。
		168 サークル・クラブ情報誌の充 実	平成24年 度(スポー ツ振興課) 平成23年 度(推定) (文化振興 課)	コミュニティセンター等を利用する団体や 文化団体、スポーツ協会、スポーツ少年 団、レクリエーション協会などの生涯学習 推進のサークル・クラブを紹介する情報誌 を充実します。	スポーツ振興課 文化振興課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会及びスポーツ少年団本部において、活 動紹介及び会員募集等を情報発信し、組織の基盤安 定、充実を図りました。 【文化振興課】 団体に補助金を交付し、支援を行ったことで、久喜市 久喜文化団体連合会及び栗橋文化協会が令和7年3 月に広報誌の発行を行いました。	【スポーツ振興課】 市ホームページに各団体の紹介を 掲載する等、情報発信の方法を検 討していきます。 【文化振興課】 高齢化により各地区の文化団体の 会員数が減少しているため、各文 化団体の活動内容などの紹介を充 実させます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 1 情報提供体制の強化					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	169	生涯学習だより「まなびすと久喜」の発行	平成6年度	「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を、広く市民に提供する生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を発行します。	生涯学習課	久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」第27号(8月1日発行)、第28号(1月1日発行)を広報紙に折り込む形で発行しました。 【内容】 第27号:第12回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について、久喜市放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)20周年、サークル団体の紹介等 第28号:第13回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について	生涯学習推進部委員の数が減少傾向にあることから、広報紙による生涯学習推進部の活動紹介を通して、広く市民に生涯学習推進部の活動を周知することで、委員の増加につなげていく必要があります。
	170	学習情報の提供※再掲(連番No.72)	昭和63年度(推定)	インターネットやホームページ、広報くき等、多様な媒体による学習資源の情報化の推進と、学習情報の広域ネットワーク化を推進し、幅広い学習情報を提供します。	生涯学習課	「久喜市市民大学公開講座」や「久喜市高齢者大学オープン高大」といった市民の方が自由に聴講できる講座の実施について、ホームページや広報くきを用いて周知を行っています。 また、「生涯学習人材バンク活用事業」や「生涯学習出前講座活用事業」については、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を用いて、講座の実施について情報の提供を行っています。	さまざまな生涯学習関係事業の実施について、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を積極的に活用し、あらゆる世代の方達に情報を提供していく必要があります。
	171	文化財の活用及び市史編さん	昭和45年度	指定文化財の説明板の設置や各種出版物を編さん・刊行します。	文化振興課	令和6年度に説明板の新規設置を1件、既存の説明板の貼替を3件、補修を1件、撤去を3件実施しました。 なお、新規出版物の編さん・刊行はありません。	説明板の設置状況を把握し、劣化状況等に応じて適切に対応する必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	172	人権相談・女性相談	昭和51年 度(推定)	子どもや家族、自分自身の生き方や人間関係に関すること、セクシュアリティに関することなど、様々な悩みや心配ごとについて相談を実施します。	人権推進課 各行政センター総 務・人権係	【久喜地区】 原則毎月10日13:15～16:15 特設相談:8月・1月10:00～15:00 久喜総合文化会館の会議室等で実施しています。 【菖蒲地区】 原則毎月第3水曜日13:30～15:30 特設相談:7月10:00～15:00 菖蒲行政センター2階会議室で実施しています。 【栗橋地区】 原則毎月第3木曜日13:30～15:30 特設相談:4月10:00～15:00 栗橋行政センター2階会議室等で実施しています。 【鷺宮地区】 原則毎月第4月曜日9:30～11:30 特設相談:6月10:00～15:00 鷺宮行政センター4階会議室で実施しています。 【令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)】 相談件数:37件 各地区の相談件数:久喜地区20件、菖蒲地区3件、栗橋地区4件、鷺宮地区10件	地域や家族のつながりが希薄化していると言われる今日の状況は、人々の社会不安を大きくしています。その中で起きる人権侵害や人権問題に絡む悩みごとは、複雑・多様化し、深刻さを増しています。こうしたことから、人権擁護委員による人権相談・女性相談体制の存在をできるだけ多くの市民に知ってもらい、相談者にとって「誰でも・気軽に・安心して」利用できるように周知していくことが課題です。
	173	女性の悩み相談	平成14年 度	配偶者等からの暴力に関することや夫婦や家族に関することなど、女性の日常生活における様々な悩みや困りごとについて相談に応じます。	人権推進課	原則第1金曜日13:00～17:00, 4・5・8・9・10・1・2・3月の第3金曜日10:00～17:00, 6・7・11・12月の第3金曜日13:00～17:00, 特設相談:6月30日(日)、11月24日(日)各10:00～15:00 相談は、面接(市役所本庁)、電話、オンラインから選択できます。 計画のとおり相談を実施しました。 利用率:69.2%(相談数83件/120枠) 予約率:106.7%(予約数128件/120枠)	利用率は直近3年では徐々に上昇してきたものの、70%を超えない状況があります。庁内各課への事業紹介や市民へのSNS発信を行うなどより一層の周知に努めます。
	174	消費生活相談	平成13年 度	消費生活に関する問題を抱える市民に対し、解決のための助言をします。	市民生活課 (消費生活セン ター)	月曜日～金曜日(10時～12時、13時～16時)に消費生活センターを開設し、消費生活相談員が消費生活に関する相談等に応じ、助言やアドバイスなどを行いました。 また、消費生活相談員による消費生活講座や出前講座を実施しました。 ・相談件数:425件(3月31日現在)	スマートフォンやインターネットの普及により、商品やサービス(ゲーム、動画等)の購入が容易になった反面、これらの解約をめぐるトラブルが増加しています。 出前講座等の開催など、自立した消費者の育成に向けた取り組みを充実していく必要があります。
	175	法律相談・行政相談	昭和62年 度・昭和37 年度	法律や行政の仕組みに関して市民に対し、助言をします。	市民生活課	本庁舎や各行政センターで法律相談や行政相談を開催し、法律に関する相談や行政の仕組みなどに関する相談に応じました。 【法律相談】毎月5回開催、予約件数:360(3月31日現在) 【行政相談】毎月1回開催、予約不要	法律相談に相談が集中している傾向があります。 法律相談の予約を受ける際、相談内容に応じて、利用できる他の相談窓口についても案内を行っているが、毎回、キャンセル待ちが多く発生している状況があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策	4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化						
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
相談体制の強化	176	創業相談	平成26年 度	創業に向けた助言、指導計画の作成方法等、創業時に必要な知識の習得をしていただけるよう努めます。	商工観光課	久喜市商工会との共催により、久喜市創業塾(全5回)を開催しました。 開催日 令和6年11月19日(火)、11月26日(火)、12月3日(火)、12月10日(火)、12月17日(火曜日) 申込者31名	久喜市商工会と連携し、効果的な周知方法を検討していく必要があります。
	177	成人健康相談	平成22年 度(推定)	血圧が気になる方、体重が気になる方等、各個人の健康に関する相談を実施します。	地域保健課	健康に関する相談を希望する方に対し、保健師が電話や面接、訪問により健康相談を実施しました。	幅広い年代の方に参加していただけるよう、事業の内容を工夫し、健康意識の改善や主体的な健康づくりへの取組みにつながる知識の普及・啓発に務める必要があります。
	178	食生活相談	平成22年 度(推定)	食生活改善及び栄養に関する相談を実施します。	地域保健課	食生活や栄養について相談を希望する方に対し、栄養士が電話や面接、訪問により、栄養相談を実施しました。	幅広い年代の方に参加していただけるよう、事業の内容を工夫し、食生活の改善につながる知識の普及・啓発に務める必要があります。
	179	家庭児童相談	昭和53年 度(推定)	児童や家庭を取り巻く種々の相談を実施します。	こども家庭保健課	児童や家庭における相談を実施しました。令和6年度は3月末までに1,218件の相談を受け付けており、保護者の育児不安の軽減を図るとともに、関係機関との連携により家庭児童の福祉向上に寄与することができました。	こどもを取り巻く様々な問題に柔軟に対応できるように、より一層関係機関との連携を図り対応していきます。
	180	子育て相談・児童相談	平成20年 度(久支セ) 平成18年 度(栗支セ) 平成24年 度(鷲支セ) 平成2年度 (児童センター) 昭和57年 度(鷲宮児童館)	保護者の子育てについての不安や悩み等の相談や、子ども全般に関する悩み等の相談を実施します。	子育て支援課 こども育成課	【久支セ】 令和6年度は44件の相談がありました。 【栗支セ】 令和6年度は8件の相談がありました。 【鷲支セ】 令和6年度は19件の相談がありました。 【児童センター】 令和6年度は35件の相談がありました。 【鷲宮児童館】 令和6年度は10件の相談がありました。 保護者の不安の軽減に寄与することができました。	【地域子育て支援センター】 より気軽に相談ができるように、SNSを通じた情報発信を利用するなど様々な方法で継続的に周知を図る必要があります。 【児童センター】 より気軽に相談ができるように、SNSを利用するなどいろいろな方法で周知をしていきます。 また、会話をする中で相談に繋がるよう、来所者と職員が気軽に話ができる関係づくりを心がけていきます。
	181	育児相談	平成21年 度(推定)	育児に関する悩み等の相談を実施します。	各市立保育園	育児相談を希望する8名に対し、保育士が対面・電話により実施しました。	今後も広報、ホームページ等で幅広く市民に周知をしていく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
		182 住宅耐震相談	平成24年 度	耐震等に関して市民に助言をします。	建築審査課	令和6年度は、耐震補強等助成制度や無料で実施している簡易耐震診断に関するチラシを作成し、全戸配布しました。反響は大きく、耐震補強等助成金の申請件数は16件、簡易耐震診断の申し込み件数は48件に上りました。この他、地方公共団体における住宅リフォームに係わる支援制度検索サイトなどにも耐震助成制度について掲載をしており積極的な広報を行いました。	チラシの作成、全戸配布にかかわるPRの方法を検討し、制度の周知を図っていく必要がある。
		183 生涯学習相談	昭和63年 度(推定)	市民のニーズにあわせた生涯学習に関する相談を実施します。	生涯学習課	市民大学・高齢者大学に関する問合せや、出前講座、生涯学習人材バンク活用の相談など、問い合わせのニーズに応じた事業等を案内をしています。	市民のニーズは多岐にわたることから、ニーズにあわせた生涯学習関係事業を幅広く市民に周知していく必要があります。
		184 市民活動の推進	平成22年 度	市民活動に関する情報提供と啓発を行い、市民活動団体の特性をいかした社会貢献事業に財政支援して市民活動を推進します。	市民生活課	令和6年度は、4月から市民活動推進事業補助金の周知を行い、16団体から応募があり、審査の結果、15団体の事業を採択しました。 補助金交付確定額7,069,000円	初期的補助の補助区分で申請する団体の割合が全体的に少ないです。 立ち上げたばかりの団体やこれから活動を始めようとしている団体へ補助金の活用を促す必要があります。
		185 子ども育成団体への支援の充実	平成23年 度(推定) (こども育成課) 平成9年度 (生涯学習課) 平成24年 度(スポー ツ振興課)	スポーツ少年団、子ども会、ボーイスカウト、青少年育成市民会議、その他多くの子ども育成団体の活動を支援します。	こども育成課 スポーツ振興課 生涯学習課	【こども育成課】 青少年育成団体(8団体)に対し、活動費補助金を交付し、青少年の健全育成に寄与しました。 ・久喜市青少年団体連絡協議会:45,000円 ・久喜市青少年のつどい実行委員会:108,000円 ・青少年育成久喜市民会議:524,558円 ・久喜市菖蒲地区青少年育成市民会議:239,000円 ・小林地区青少年を守る会:48,000円 ・栢間地区青少年を守る会:48,000円 ・久喜市青少年育成市民会議栗橋:35,000円 ・久喜市鷲宮地区青少年育成推進員協議会:144,000円 【スポーツ振興課】 スポーツ少年団本部の活動を支援するため、補助金を交付しました。 ・1,865,000円 【生涯学習課】 各社会教育団体の活動を支援するため、補助金を交付しました。 ・久喜市子ども会育成連合会:471,808円 ・久喜市ボーイスカウト連絡協議会:175,000円 ・ガールスカウト埼玉県第49団:35,000円 ・ガールスカウト埼玉県第67団:35,000円	【こども育成課】 各青少年団体において、構成員の高齢化により活動の存続が困難になってきており、新たな構成員を獲得できるような企画や、活動内容を広く周知する方法が必要と考えます。 【スポーツ振興課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。 【生涯学習課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
支援体制の強化	186	スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援	平成22年度	市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援します。	スポーツ振興課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会やスポーツ少年団本部、レクリエーション協会等に補助金を交付やスポーツ活動に親しむ活動の場の提供等を行いました。 ・久喜市スポーツ協会4,500,000円 ・久喜市スポーツ少年団1,865,000円 ・久喜市レクリエーション協会405,000円	【スポーツ振興課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。
	187	社会教育関係団体、スポーツ・レクリエーション団体への支援	平成22年度	社会教育関係団体やスポーツ・レクリエーション団体の各種事業の支援(文化団体連合会、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会、ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会育成連合会、PTA連合会、婦人会連合会)をします。	スポーツ振興課 生涯学習課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会やスポーツ少年団本部、レクリエーション協会等に補助金を交付やスポーツ活動に親しむ活動の場の提供等を行いました。 ・久喜市スポーツ協会4,500,000円 ・久喜市スポーツ少年団1,865,000円 ・久喜市レクリエーション協会405,000円 ・久喜地方青少年健全育成剣道大会55,000円 【生涯学習課】 各団体の活動を支援するべく、補助金を交付しました。 ・久喜市ボーイスカウト連絡協議会:175,000円 ・ガールスカウト埼玉県第49団:35,000円 ・ガールスカウト埼玉県第67団:35,000円 ・久喜市子ども会育成連合会:471,808円 ・久喜市久喜婦人会連合会:160,000円 ・久喜市菖蒲町小林婦人会:80,000円 ・久喜市栗橋婦人会:80,000円	【スポーツ振興課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。 【生涯学習課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。
	188	市民スポーツ久喜・文連だよりなどの支援	平成27年度(スポーツ推進課) 平成23年度(推定)(文化振興課)	スポーツ協会や文化団体連合会の広報紙の発行を支援します。	スポーツ振興課 文化振興課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会の活動紹介等については、市ホームページを活用し情報発信を行い、組織の基盤安定、充実を図りました。 【文化振興課】 団体に補助金を交付し、支援を行ったことで、久喜市久喜文化団体連合会及び栗橋文化協会が令和7年3月に広報誌の発行を行いました。	【スポーツ振興課】 市ホームページに各団体の紹介を掲載する等、情報発信の方法を検討していきます。 【文化振興課】 高齢化により各地区の文化団体の会員数が減少しているので、各文化団体の活動内容などの紹介を充実させます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	189	総合型地域スポーツクラブの創設支援※再掲(連番No.141)	平成22年度	地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの創設を支援します。	スポーツ振興課	実施期間:令和6年4月から令和7年3月まで 内容:市広報紙や市ホームページにおいて、団体活動を掲載し、広く総合型地域スポーツクラブの活動を周知しました。 市内にある総合型地域スポーツクラブ ・スポーツコミュニティ久喜 ・サンワ×エナジークラブ久喜支部	中学校の地域移行に向けて更に活動を支援していく必要があります。 また、新たなクラブ創設を図るため、周知や相談体制を強化します。
	190	コミュニティまつりの支援	令和2年度(栗橋行政センター) 昭和58年度(鷺宮行政センター)	コミュニティまつりの円滑な運営の支援と、市民相互の交流と連帯感を高め、コミュニティづくりを推進します。	栗橋行政センター地域振興係 鷺宮行政センター地域振興係	【栗橋地区】 令和6年11月17日(日)に栗橋文化会館、栗橋B&G海洋センターで赤花そば栗橋やさしさときめき祭りが実施され、約7,000人の参加を得て盛大に行われました。実施主体である赤花そば栗橋やさしさときめき祭り実行委員会に対し、補助金の交付や運営の補助など、適切な支援を行いました。 【鷺宮地区】 令和6年5月12日(日)に第42回久喜市鷺宮地区コミュニティ祭りが実施され、35団体の参加を得て盛大に行われました。実施主体である久喜市鷺宮地区コミュニティ祭り実行委員会に対し、補助金の交付や運営の補助など、適切な支援を行いました。	【栗橋地区】 実行委員会役員の高齢化により、今後、実施できない催事ができる可能性があります。 【鷺宮地区】 令和7年度については祭りは実施せず、今後については鷺宮コミュニティ推進協議会において検討することになりました。
	191	文化団体の活動支援	平成23年度(推定)	市民の文化的活動の振興を図り、文化団体の活動を支援します。	文化振興課	市内4地区の文化団体連合会等に、次のとおり補助金を交付しました。 ①久喜文化団体連合会975,000円 ②菖蒲町文化団体連合会820,000円 ③栗橋文化協会383,461円 ④鷺宮文化団体連合会487,060円	高齢化により各地区の文化団体の会員数が減少しているため、市ホームページやSNS等で文化祭事業や各文化団体の活動内容などを紹介します。
	192	生涯学習活動団体の支援	昭和63年度	市民の生涯学習活動・ボランティア活動の振興・推進を図り、生涯学習活動団体の活動を支援します。	生涯学習課	久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」第27号(8月1日発行)、第28号(1月1日発行)を広報紙に折り込む形で発行しました。 久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は令和7年2月2日(日)に生涯学習施設「まなびすポット」で開催しました。 当日は、「笑顔広がるまなびの仲間」を大会テーマに、各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただくことができました。 ○来場者数約900人 ○発表会・イベント出展参加団体 ・発表会16団体 ・イベント出展19団体	生涯学習活動団体の活動紹介や生涯学習イベントの開催について広く周知をしていくことで、新たな活動団体の参加につなげていく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化					
具体的施策	理 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
	193	生涯学習推進会議・生涯学習推進部への積極的支援	昭和63年度	生涯学習推進会議及び生涯学習推進部が主体となって実施する事業展開を支援します。	生涯学習課	久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」は、6月8日(土)に生涯学習施設「まなびすポット」で実施しました。「ささえあう地域と学校」というテーマで、93名の方に参加いただきました。 8グループに分かれて、活発な意見交換、討論をすることができました。 久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」は令和7年2月2日(日)に生涯学習施設「まなびすポット」で開催しました。 当日は、「笑顔広がるまなびの仲間」を大会テーマに、各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただくことができました。 ○来場者数約900人 ○発表会・イベント出展参加団体 ・発表会16団体 ・イベント出展19団体	生涯学習推進部委員の数が減少傾向にあることから、久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」や久喜市生涯学習研修大会まなびすとフォーラム、久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」を通じて、生涯学習推進部の活動を広く周知し、委員数の増加につなげていく必要があります。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策	4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化						
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
学校との連携	194	新・放課後子ども総合プランの推進	平成26年度(推定)	すべての子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な実施を推進します。	こども育成課 生涯学習課	【生涯学習課】 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)と学習や体験や交流活動などを行う事業(放課後子ども教室)との連携を図り、一緒に活動することができています。	【生涯学習課】 放課後児童クラブに参加する多くの児童が、放課後子ども教室に参加できるよう、講座内容や開催方法を工夫する必要があります。
	195	学校応援団※再掲(連番No.123.131.155)	平成22年度	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等で学校を支援します。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、学習・環境・安全安心・部活動支援等の学校支援を実施しており、令和6年度は延べ1万人を超える方が参画しました。久喜市地域学校協働活動推進員設置要綱に基づき、各学区3名程度配置された推進員を中心に学校支援を推進しました。保護者や地域住民の力を学校運営に生かすことができました。	開かれた学校や特色ある学校づくりに向け、事業の維持・推進を図っていきます。特に、令和7年度は、久喜市地域学校協働活動推進員の新たな2年間の委嘱の年となるため、生涯学習課と連携し、ねらいを委員の方と共有できるような研修会を検討します。
	196	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実※再掲(連番No.154)	平成29年度	保護者や地域の住民の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を推進します。	指導課	令和6年度は、4月15日(月)に市内全ての小・中学校の全委員集合型研修会を実施しました。実践発表後、学校毎に第1回運営協議会を行いました。また、各学校における学校運営協議会の定期的な開催に対し、指導主事が学校を訪問し、本事業の発展を推進しました。学校の目指す運営方針に基づき、保護者や地域と学校が連携するための協議を充実させることができました。年度末には、令和7年度から2年間の任期となる新たな委員の委嘱が決定しました。	次年度より新たに2年間の委員の委嘱を行い、学校運営協議会が再始動します。新たに委員になる方も多くなるため、本事業の狙いを改めて共有するような研修会を検討していく必要があります。
	197	地域学校協働活動の推進※再掲(連番No.157)	令和2年度(推定)	学校と地域をつなぐコーディネーターを地域学校協働活動推進員として委嘱し、「学校を核とした地域づくり」を推進します。	生涯学習課	令和7年3月31日現在、37名の推進員で構成されています。放課後子ども教室のサポーター探し、あいさつ運動の促進、地域住民で行われる学校の除草など、「学校を核とした地域づくり」を牽引することができています。令和5・6年度の推進委員の任期が切れることから、令和7・8年度の推進委員の推薦を各小中学校へ依頼しました。	地域学校協働活動推進員の高齢化・後継者不足が課題です。
	198	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)※再掲(連番No.18.125.158)	平成16年度	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和6年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに居場所を提供することができています。 ・参加児童数:2,838人 ・開設講座数:371講座 ・実施委員人数:370人 ・児童参加率:42.7%	子どもたちの興味・関心を高めるために新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。
	199	PTA活動の充実	平成21年度(推定)	PTA活動の活性化と会員相互の資質の向上、学校・家庭・地域が連携し、子どもの健全な成長を支援します。	生涯学習課	令和6年10月21日(月)に市長・教育長を交え、地域の課題などに関する意見交換会を実施しました。今後のPTA活動の在り方に対しても話題となりました。	PTAを取り巻く環境も変化しています。PTAの廃止等の方向性を示すPTAもあり、それに伴う学校・地域・保護者の十分な理解と合意が必要です。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
家庭との連携	200	子育て講座※再掲(連番No.25)	平成28年度(推定)	小学校入学を控えた子どもを持つ保護者が抱えている不安や悩みなどを解消するために、保護者同士の交流を支援します。	生涯学習課	令和6年度は、埼玉県家庭教育アドバイザーを講師として、10月に市内全小学校で実施しました。11月には、埼玉県家庭教育アドバイザー同士で子育て講座反省会を開催し、アドバイザーとしてのスキル向上に努めました。	中学校でのアドバイザーの活用の推進及び、アドバイザーの人材不足が課題です。
	201	家庭教育学級※再掲(連番No.26)	平成27年度(推定)	子育ての悩みや親子の関わり方等について保護者同士で学ぶ機会を支援します。	生涯学習課	令和6年度は16の団体で本事業が実施され、補助金額は254,000円でした。	補助金制度を活用する団体は限られていることから、より多くの団体へ補助金事務をわかりやすく示す必要があります。
	202	家庭教育支援チームの発足	令和5年度	埼玉県家庭教育アドバイザーを中心とした支援チームを発足し、子育てサロンを開催します。	生涯学習課	4つの子育てサロンを実施しました。 ①青空ママパパ交流会(令和6年5月11日(土)実施) 参加者:大人45名子ども63名計108名 保護者同士が子育てについて語り合えました。 ②子育てひろば(令和6年8月3日(土)実施) 参加者:大人13名子ども23名計36名 様々な子育て情報を共有できました。 ③親の学習(令和6年10月市内全小学校で実施) 参加者:大人1,058名子ども192名計1,250名 保護者同士で子育ての悩みを相談できました。 ④いのちの授業(令和6年10～12月に市内中学校で9回実施) 参加者:大人205名子ども226名計431名 子育て体験を中学生に話す貴重な経験でした。	各サロンのより効果的な周知が必要です。市のHPに掲載し、定期的なサロンへの参加募集を図ります。また、チームの活動を軌道に乗せ、今後埼玉県の家庭教育支援チームの登録も目指していきます。
	203	コミュニティ協議会運営事業	平成22年度(推定)	コミュニティ団体に対して、財政的支援及び事務的支援を行い、コミュニティづくりを推進します。	市民生活課	【市民生活課】 令和6年度は、市民の連携と協働による自主的なコミュニティ活動や人と人とのつながりづくりを促進するため、各コミュニティ団体に補助金を交付するなど、コミュニティづくりを支援しました。 ・コミュニティ推進協議会補助金(4地区) ・コミュニティ協議会補助金(13団体)	【市民生活課】 地域コミュニティづくりの目的や感染症対策を含めた課題を共有し、相互に役割を分担して活動できるよう地区コミュニティの組織化を推進、強化する必要がある。
	204	子どもの体験活動の場の充実	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	自主的な活動や遊び、児童センターや児童館で計画する行事への参加をとおして、心身ともに豊かで健康的な子どもたちの育成を目指します。	こども育成課	【児童センター】 令和6年度には122事業を企画し、122事業をすべて開催できました。 また令和6年4度は262日開館し、延べ18,008人が来所しました。 【鷺宮児童館】 令和6年度は企画事業数を122事業に変更し、すべて開催することができました。 また令和6年度は293日開館し、延べ10,959人が来所しました。	近隣地域の利用者が多いため、様々な地域の方に利用してもらえるような企画や周知方法が必要と考えます。

令和6年度生涯学習関係事業報告書(令和7年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化					
具体的施策	連 承	事業名	事業開始年	内容	担当課	令和6年度の成果(令和7年3月31日現在)	課題・今後の対策
地域コミュニティとの 連携	205	地域子育て支援事業	平成20年 度(久支セ) 平成18年 度(栗支セ) 平成24年 度(鷺支セ)	子育て中の方が、安心して楽しく子育てができるようにします。	子育て支援課	【久支セ】 令和6年度は89事業を予定し、79事業を開催し、内10回が中止となりました。また、令和6年度は246日開所し、利用人数は延べ4,647人です。 【栗支セ】 令和6年度は64事業を開催しました。中止した事業なし。また、令和6年度は246日開所し、利用人数は延べ6,496人です。 【鷺支セ】 令和6年度は53事業を予定し、54事業を開催し、内1回が中止となりました。また、令和6年度は246日開所し、利用人数は延べ10,167人です。	施設周辺の立地環境に応じて、市内全域や市外の方等に幅広く利用されるためのアプローチや周知方法を検討する必要があります。
	206	公民館事業の充実※再掲(連番No.149)	平成22年 度(推定)	公民館事業運営委員の企画による事業を展開し、地域住民の交流を図ります。	生涯学習課	令和6年度の公民館事業につきましては91事業を実施し、延べ10,946人の参加がありました。講座の参加人数にはまつりの来場者数を含みます。 ・久喜中央地区:10事業508人(1事業中止) ・江面地区:10事業1,371人(1事業中止) ・久喜東地区:11事業1,920人(1事業中止) ・青葉地区:10事業399人(1事業中止) ・清久地区:10事業1,629人 ・菖蒲地区:10事業448人(1事業中止) ・栗橋地区:15事業2,484人 ・鷺宮地区:13事業2,154人 ・久公連事業:2事業33人 各地区で、参加者に対して生涯学習のきっかけとなりました。	各地区ごとの特色に合わせた彩りある公民館事業を提供していきます。
	207	コミュニティセンターまつり※再掲(連番No.55.102.127)	平成22年 度(推定)	コミュニティセンターごとに、公民館事業運営委員と地域住民との協働により、各コミュニティセンター利用団体の展示や演技発表等を実施します。	生涯学習課	令和6年度は8地区で開催しました。 ・清久地区:9月28日(土)、29日(日)(清久コミュニティセンター)約720人参加 ・江面地区:11月30日(土)、12月1日(日)(南コミュニティセンター、江面小学校)約200人参加 ・久喜中央地区:12月6日(金)～12月8日(日)(久喜中央コミュニティセンター)約331人参加 ・青葉地区:令和7年2月1日(土)、2日(日)(青葉コミュニティセンター)約250人参加 ・鷺宮地区:令和7年2月8日(土)、9日(日)(鷺宮中央コミュニティセンター)約300人参加 ・菖蒲地区:令和7年2月15日(土)、16日(日)(森下コミュニティセンター)約330人参加 ・栗橋地区:令和7年2月15日(土)、16日(日)(栗橋中央コミュニティセンター)約320人参加 ・久喜東地区:令和7年3月15日(土)、16日(日)久喜東コミュニティセンター)約720人参加	地区毎の集客方法や事業実施が望まれるため、各地区運営委員会で協議していきます。